

品川区の地域福祉に関するアンケート調査
報 告 書（案）

令和 5 年 1 月

品川区 福祉部 福祉計画課

< 目次 >

I.	調査概要	1
1.	調査目的.....	1
2.	調査の設計.....	1
3.	調査の内容	1
4.	回収結果.....	1
II.	調査結果	2
1.	あなた自身のことについて	2
2.	あなたの現在の暮らしについて.....	6
3.	困ったときの相談について	17
4.	地域活動やボランティア活動について	28
5.	品川区の地域福祉の施策について	35
6.	（参考）回答方法について	37

I. 調査概要

1. 調査目的

社会福祉法に基づく地域福祉計画の策定に際し、区民の日常生活や社会参加の状況、地域・世帯・個人が抱える課題等を把握し、次期計画に反映させるためにアンケート調査を行うものである。

2. 調査の設計

調査対象者	満 18 歳以上の品川区民
調査数	5,000 人
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送調査（郵送配布、郵送回収及び Web 回答）
調査時期	令和 4 年 8 月～10 月

3. 調査の内容

以下の内容で、設問数は属性、補問を含め 28 問とした。

- ✓ 個人属性（性別、年齢、居住地区、居住年数など）
- ✓ 現在の暮らしについて（交流頻度、孤独感、ご近所との関わり方など）
- ✓ 困ったときの相談について
- ✓ 地域活動やボランティア活動について
- ✓ 地域福祉の施策についての意見

4. 回収結果

	今回調査（令和 4 年 10 月）	前回調査（平成 29 年 11 月）
調査数	5,000 人	5,000 人
有効回収数	1,910 人（紙：1,488 人、Web：422 人）	1,718 人
有効回収率	38.2%	34.4%

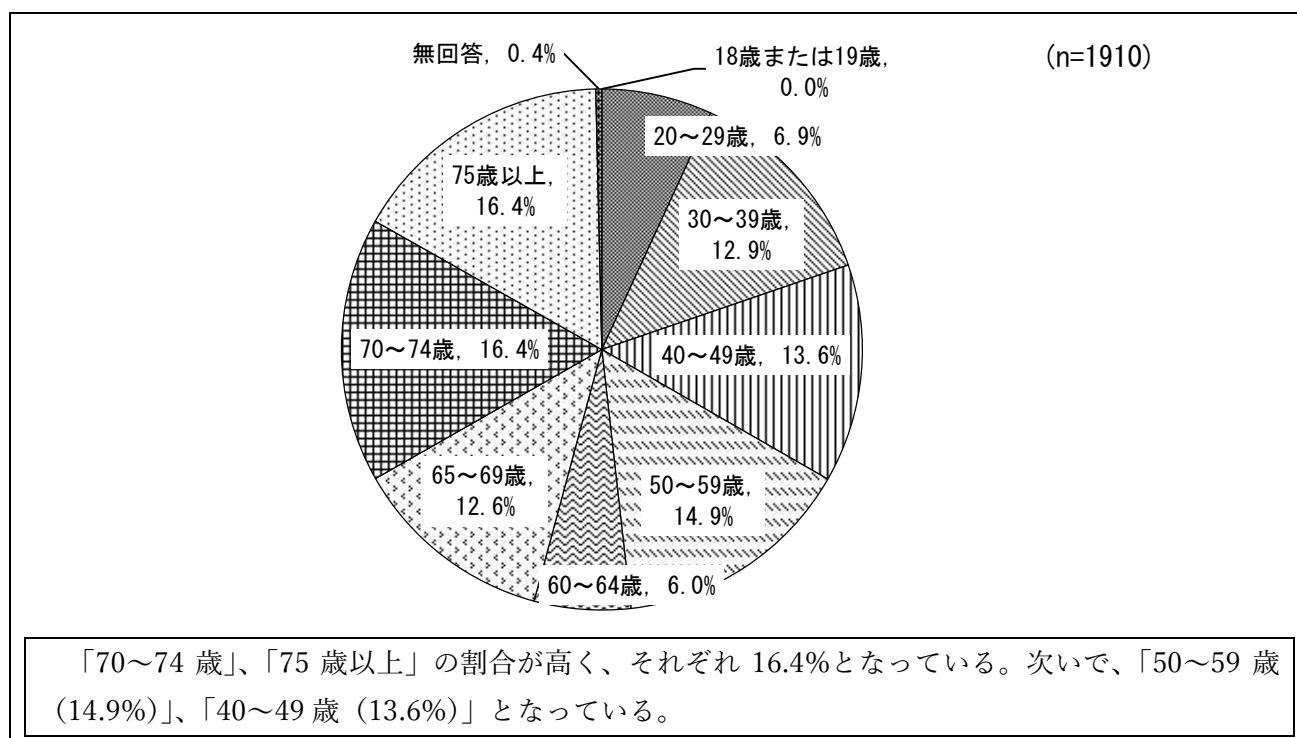
○分析の方法・結果の見方について

- ・ 設問には、1 つだけ回答する単一回答と複数回答する設問があり、複数回答設問の表記の割合合計は 100%を超える。
- ・ 表記の割合は、小数点以下第 2 位を四捨五入して第 1 位まで表示しているため、単一回答でも割合合計が 100%にならない場合がある。
- ・ 設問の中には前問に回答した人だけが回答する設問があり、その場合の回答者数（n）は全体よりも少なくなる。

II. 調査結果

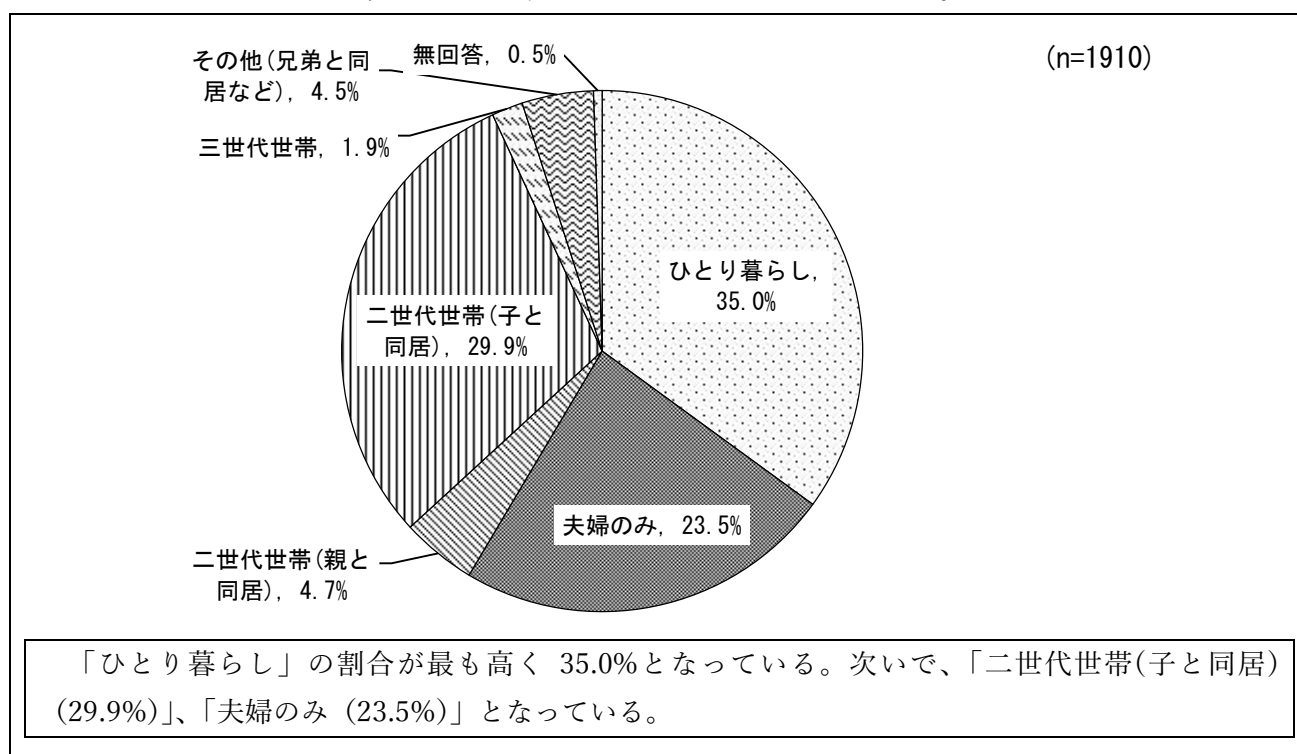
1. あなた自身のことについて

問1 年齢（令和4年9月1日現在）をお答えください。（1つに○）

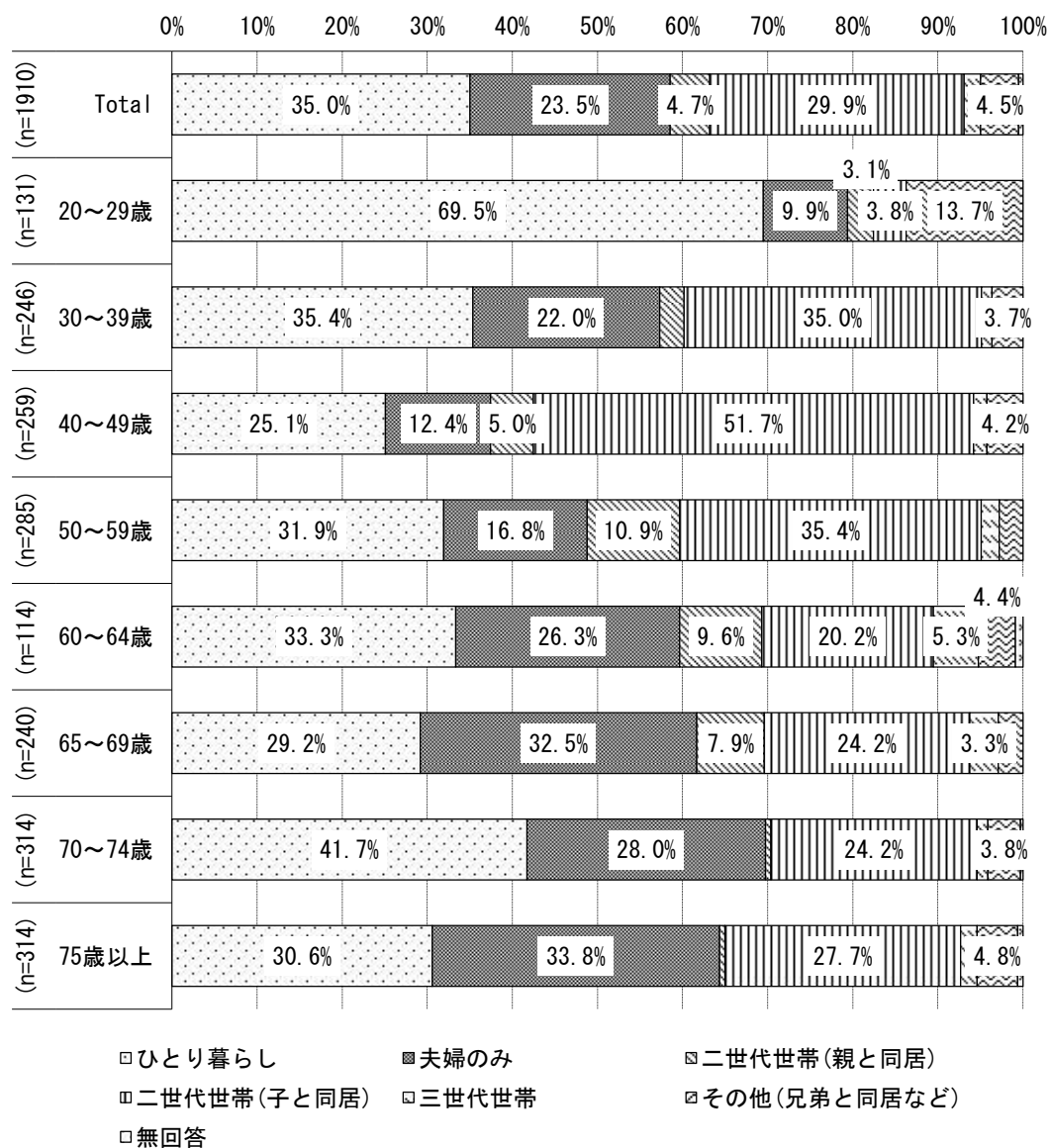


問2 世帯構成は次のどれですか。（1つに○）

※同一敷地または同一建物の場合は、同居としてお答えください。

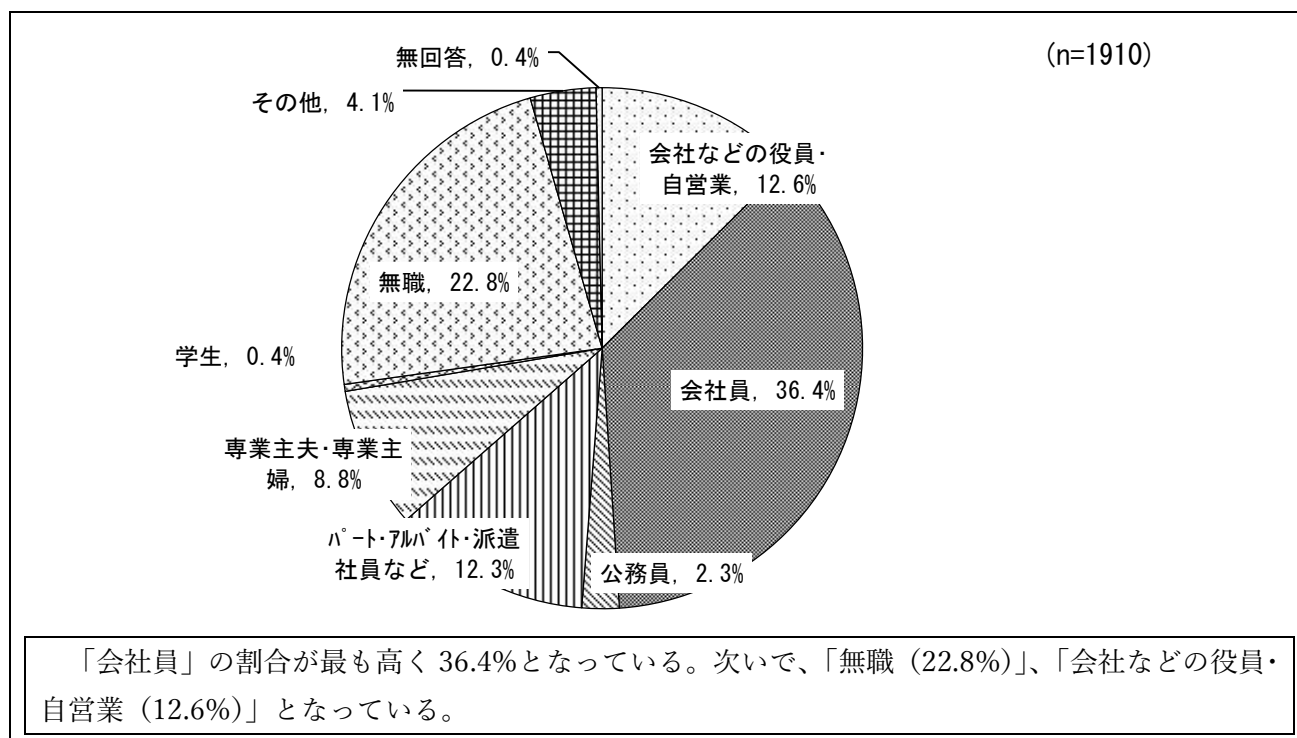


【問 2_年齢区分別】

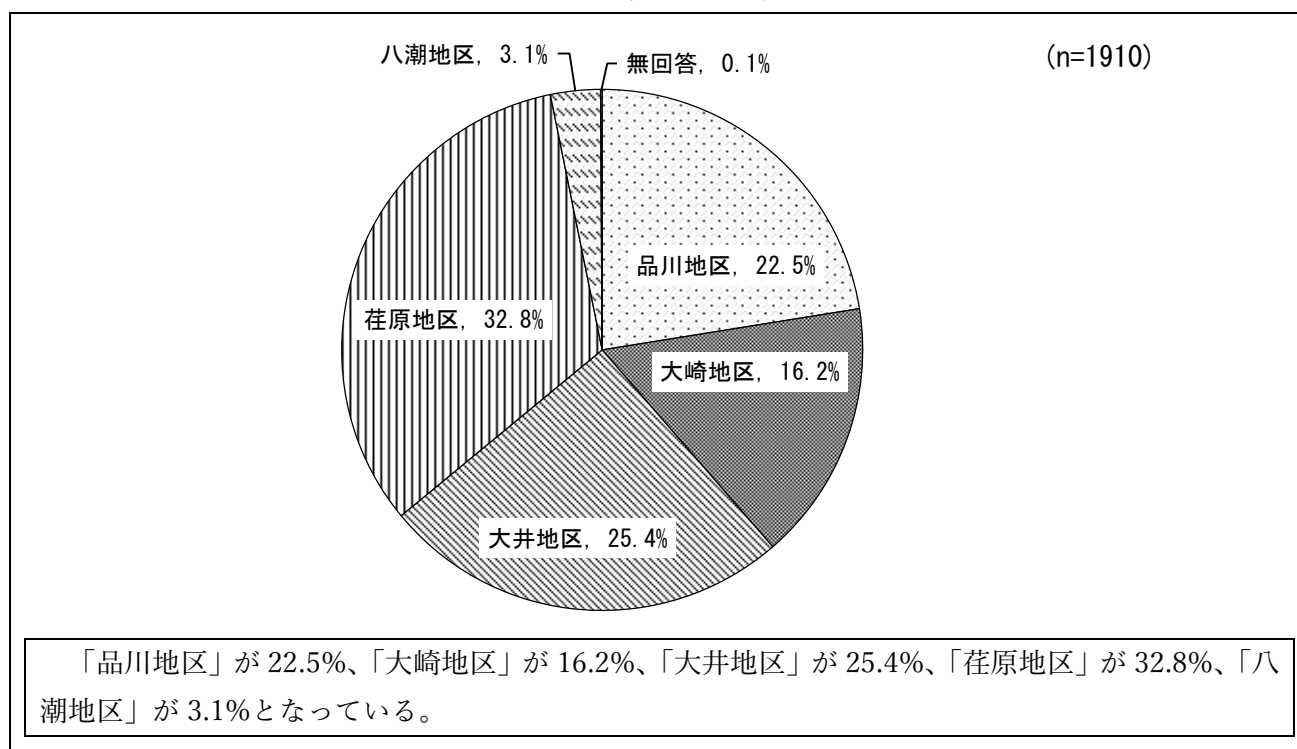


世帯構成を年齢区分別にみると、「20~29 歳」では「ひとり暮らし」が 69.5% ともっとも割合が高くなっている。また、「70~74 歳」でも「ひとり暮らし」が 41.7% ともっとも割合が高くなっている。

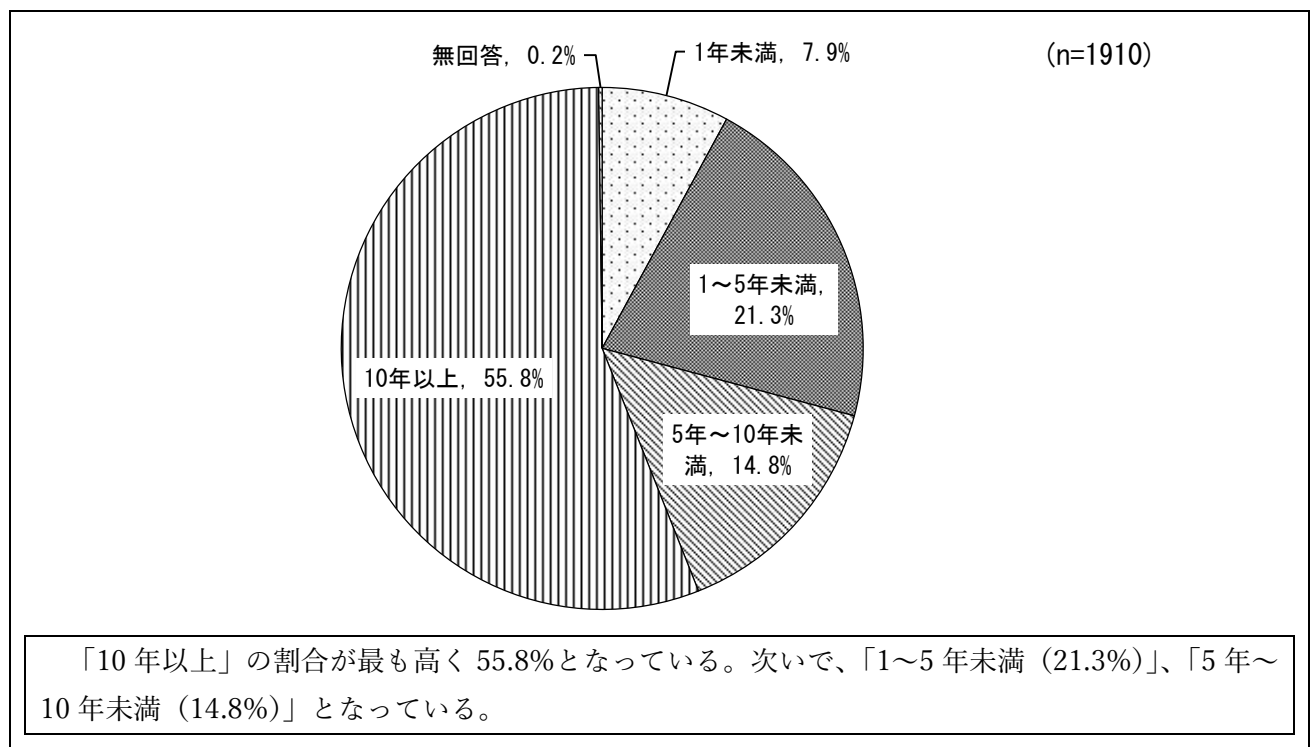
問3 職業をお答えください。(主なもの1つに○)



問4 お住まいの地区をお答えください。(1つに○)



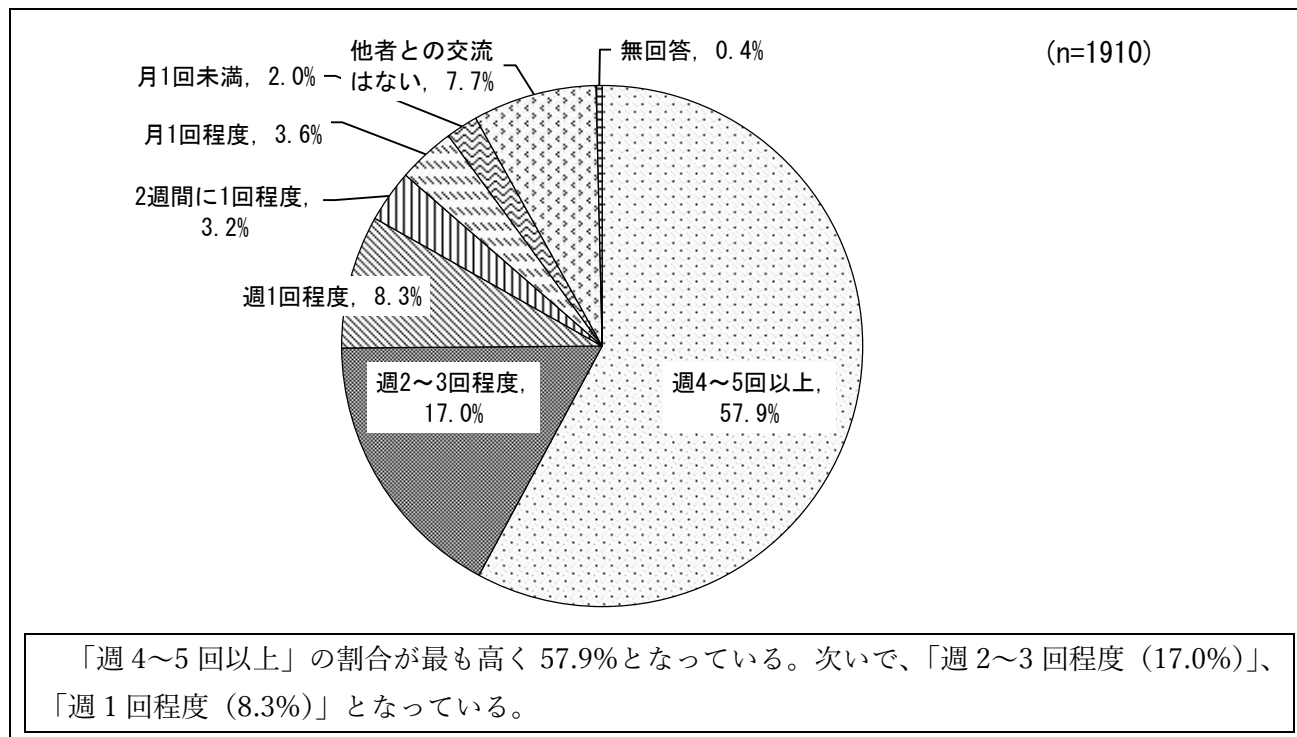
問5 現在お住まいの住居での居住年数（令和4年9月1日現在）をお答えください。
（1つに○）



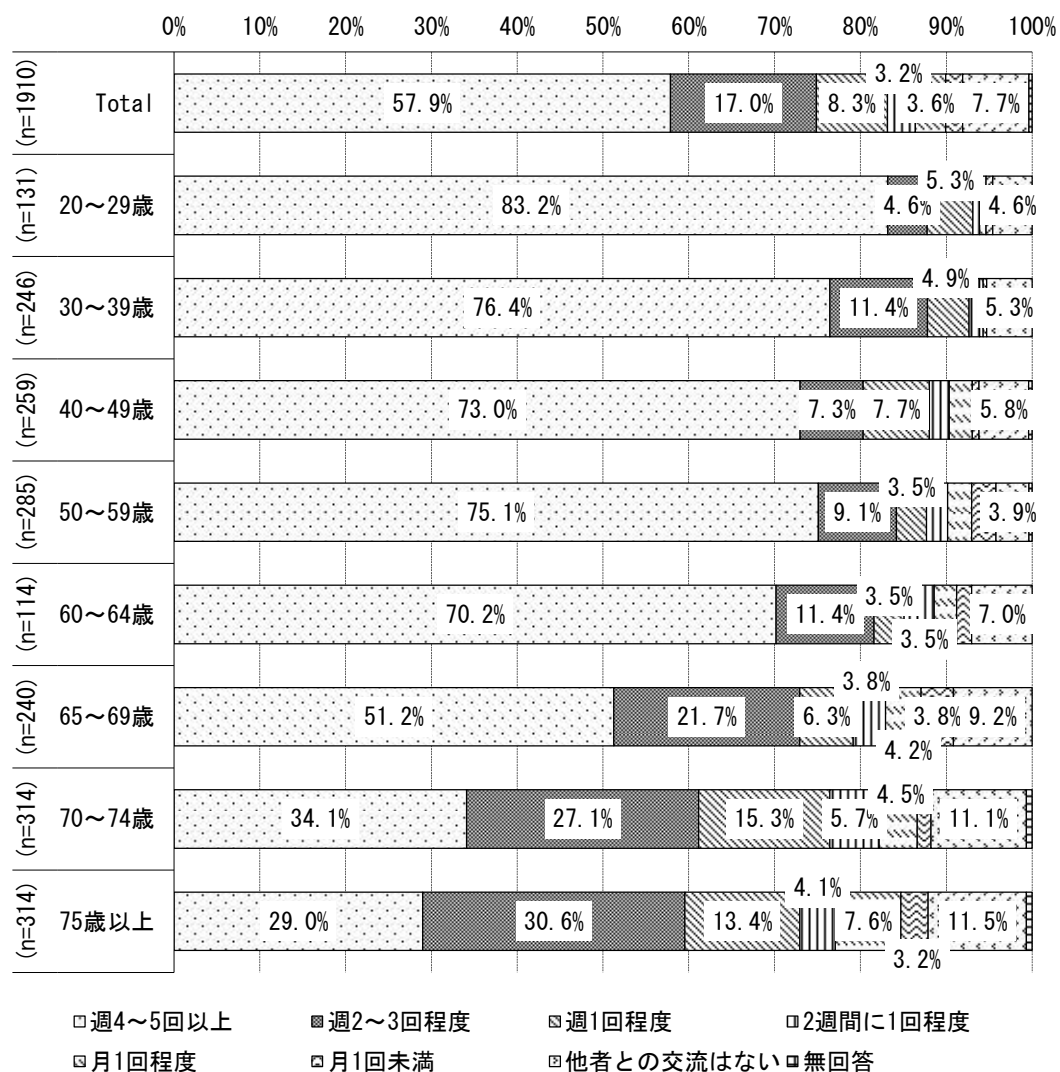
2. あなたの現在の暮らしについて

問6 あなたの、現在の他者との交流の頻度についてお答えください。(1つに○)

※仕事や学校、近所での付き合い、SNS等のオンライン上での交流など、場所や手段は問いません。



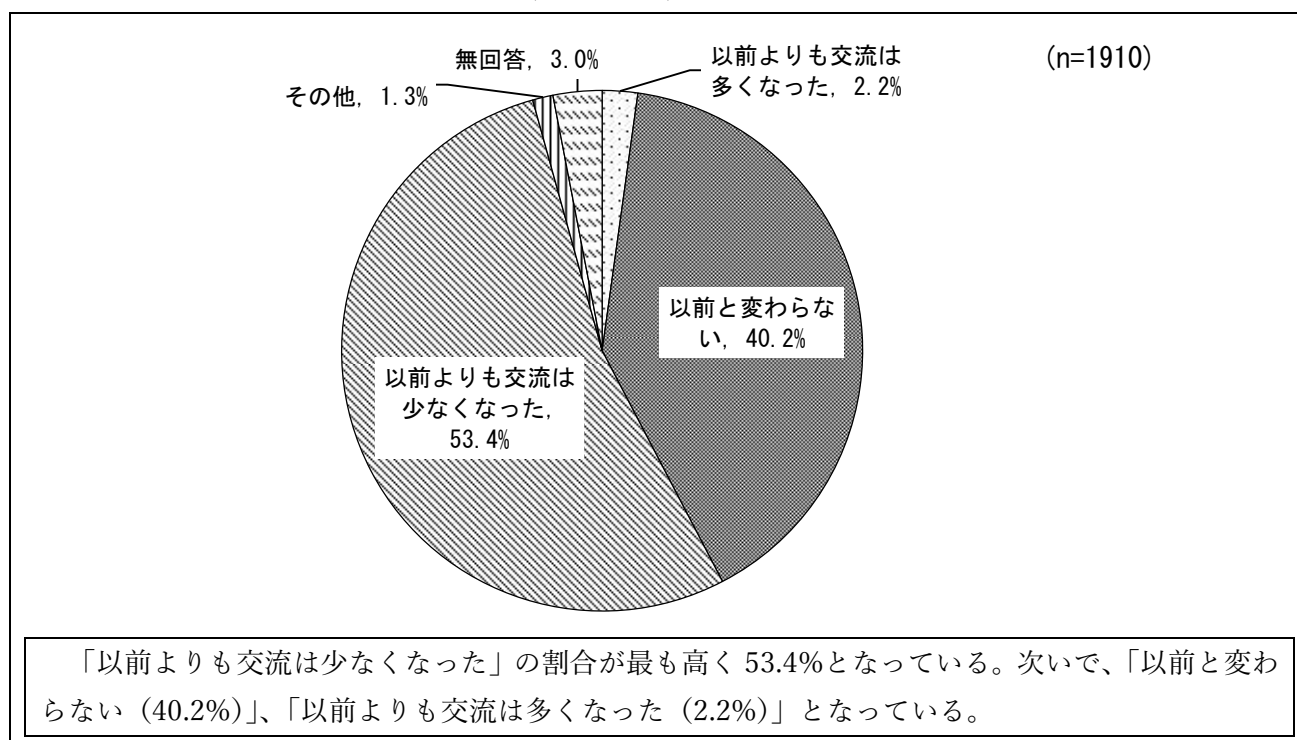
【問 6_年齢区分別】



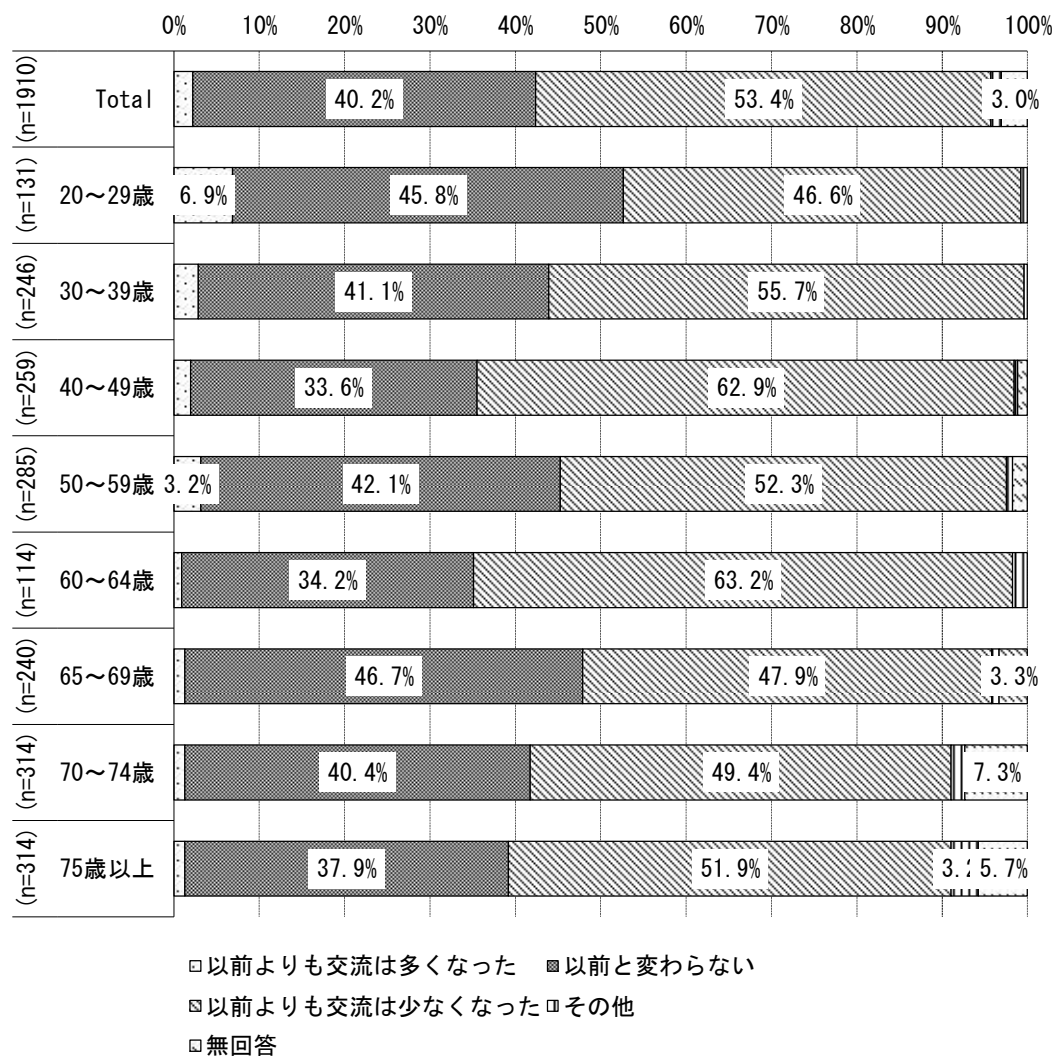
交流頻度を年齢別にみると、「65～69歳」では「週4～5回以上」が51.2%ともっとも割合が高く、次いで「週2～3回程度」が21.7%、「他者との交流はない」が9.2%となっているが、「70～74歳」では「週4～5回以上」が34.1%、「75歳以上」では29.0%と「65～69歳」と比べ割合が低くなっている。

また、70歳以上では、「他者との交流はない」の割合が1割以上となっている。

問7 問6で回答した「他者との交流の頻度」は、新型コロナウイルス感染症の流行以前と比べ、どのように変化しましたか。(1つに○)



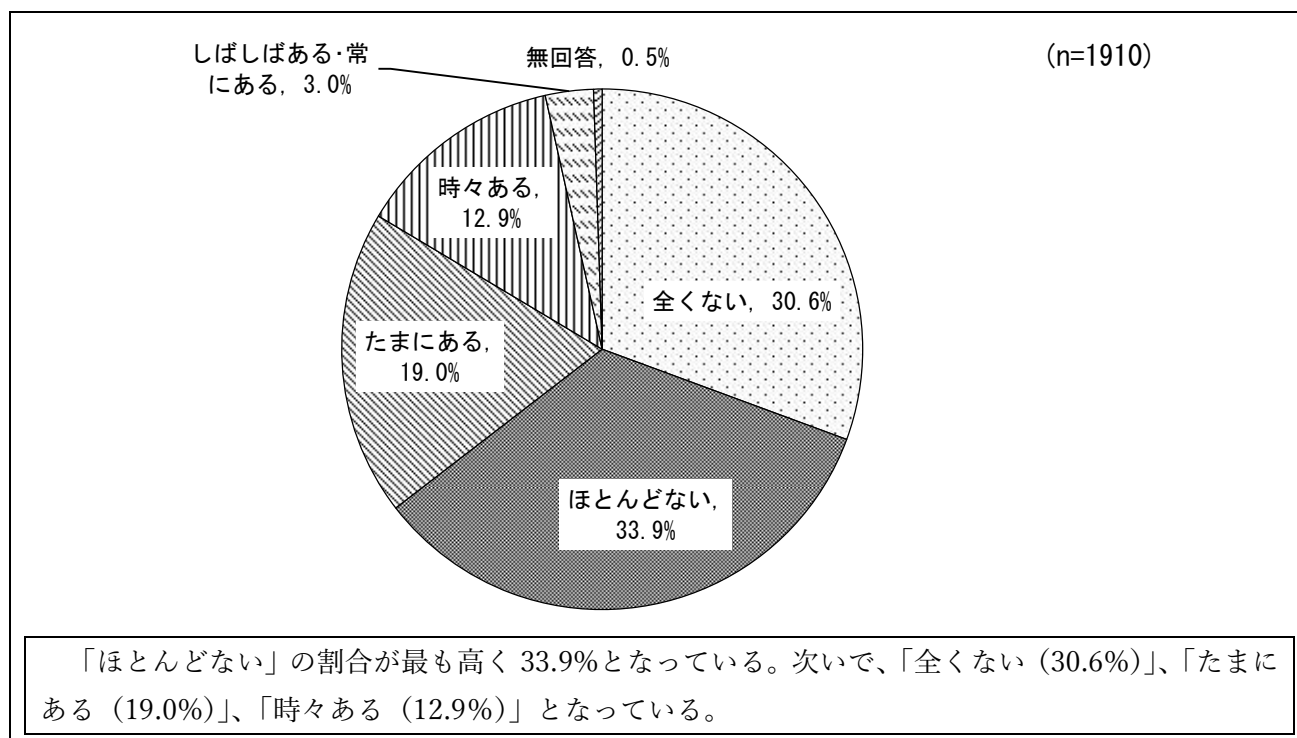
【問 7_年齢区分別】



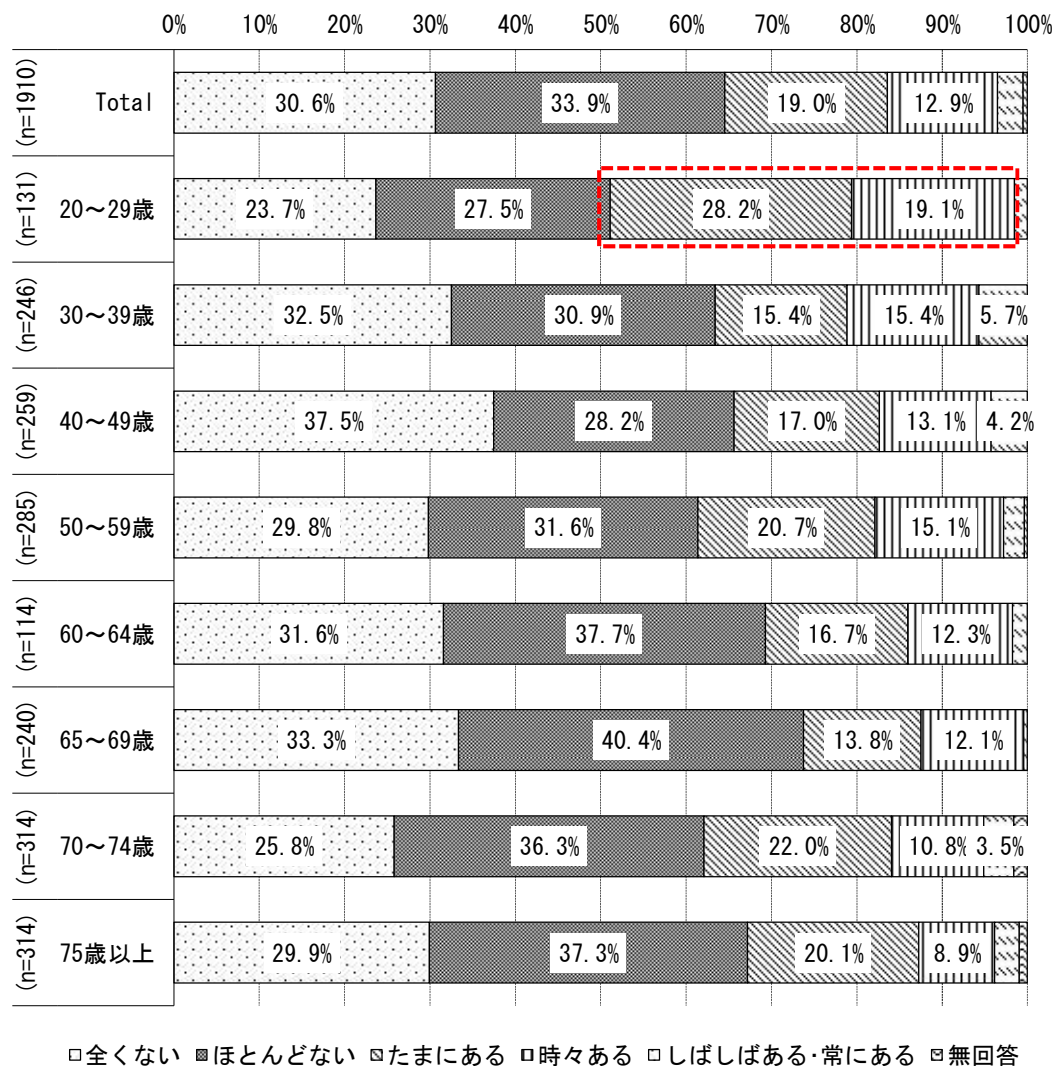
新型コロナウイルス感染症の流行以前との交流頻度の比較を年齢別にみると、どの年齢区分でも、「以前と変わらない」に比べ、「以前よりも交流は少なくなった」の割合が高くなっている。

特に、「40～49歳」、「60～64歳」では、「以前よりも交流は少なくなった」の割合が6割を超えている。

問8 あなたは現在、どの程度、孤独であると感じることがありますか。(1つに○)

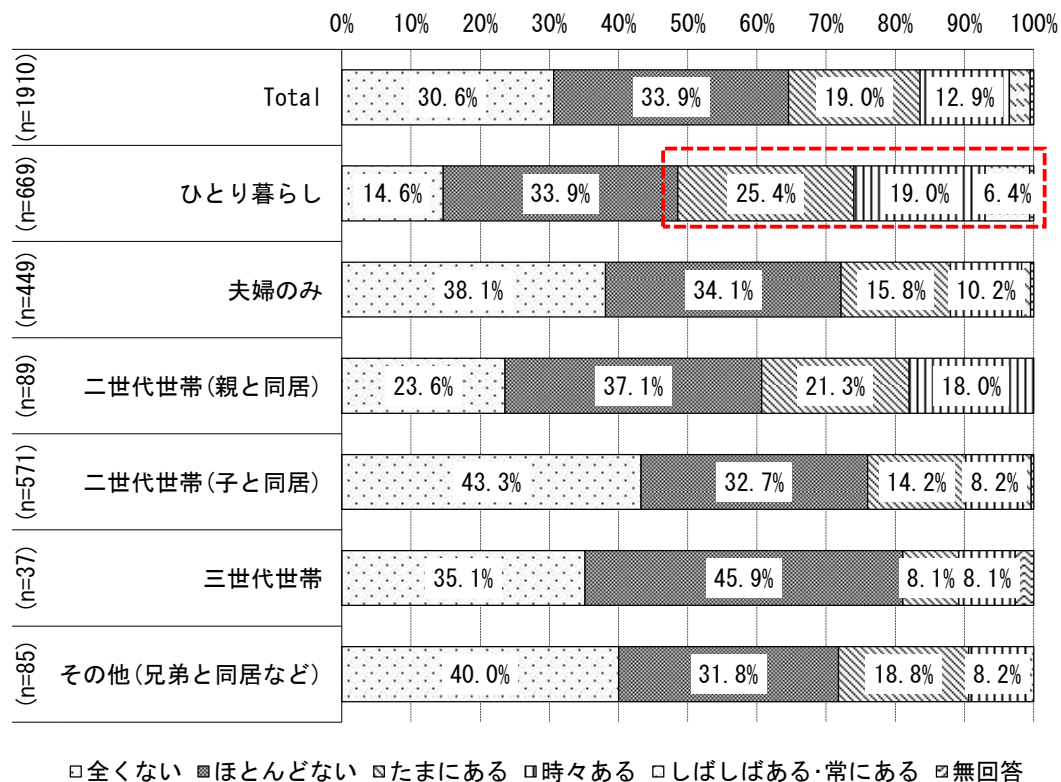


【問 8_年齢区分別】



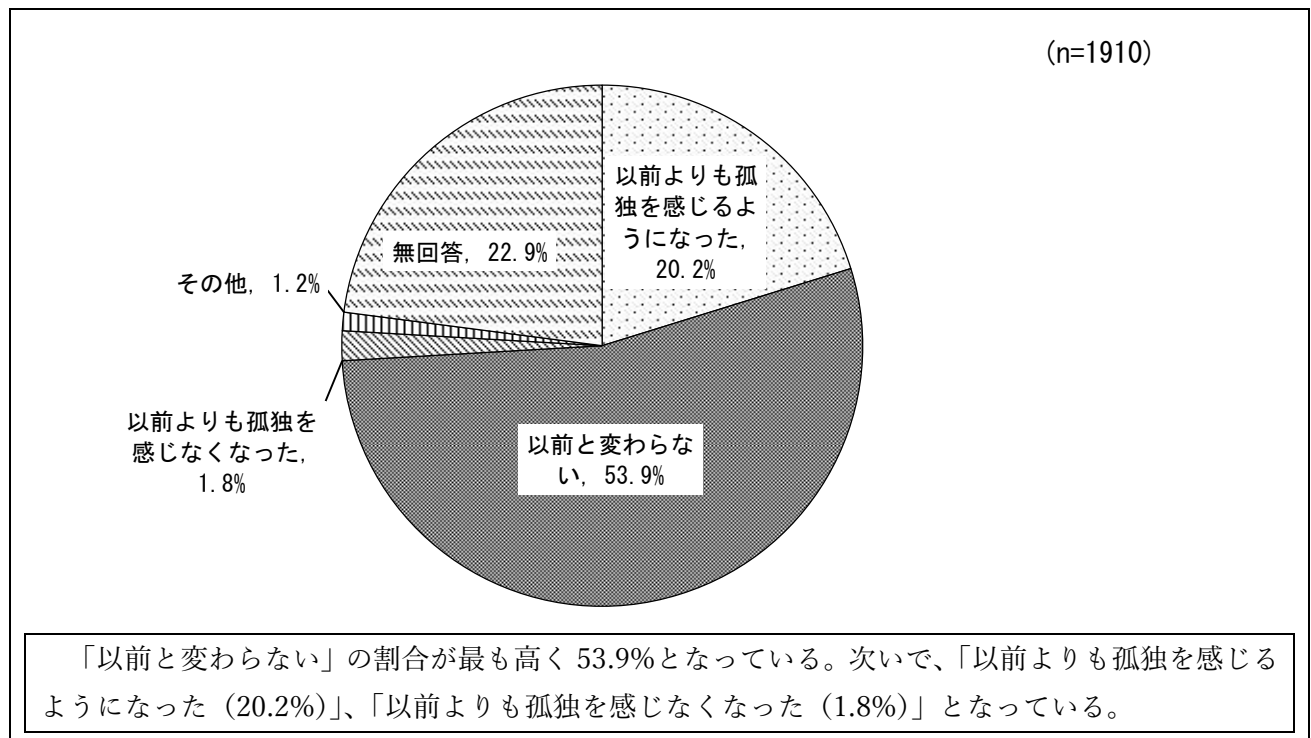
孤独感を年齢別にみると、高齢で孤独感があるとする割合が他の年齢区分と比べ特に高いという傾向はみられないが、「20~29歳」では「たまにある」が28.2%と最も割合が高く、「時々ある」の19.1%と合わせると、5割弱の人が「ある」と回答している。

【問 8_世帯構成別】

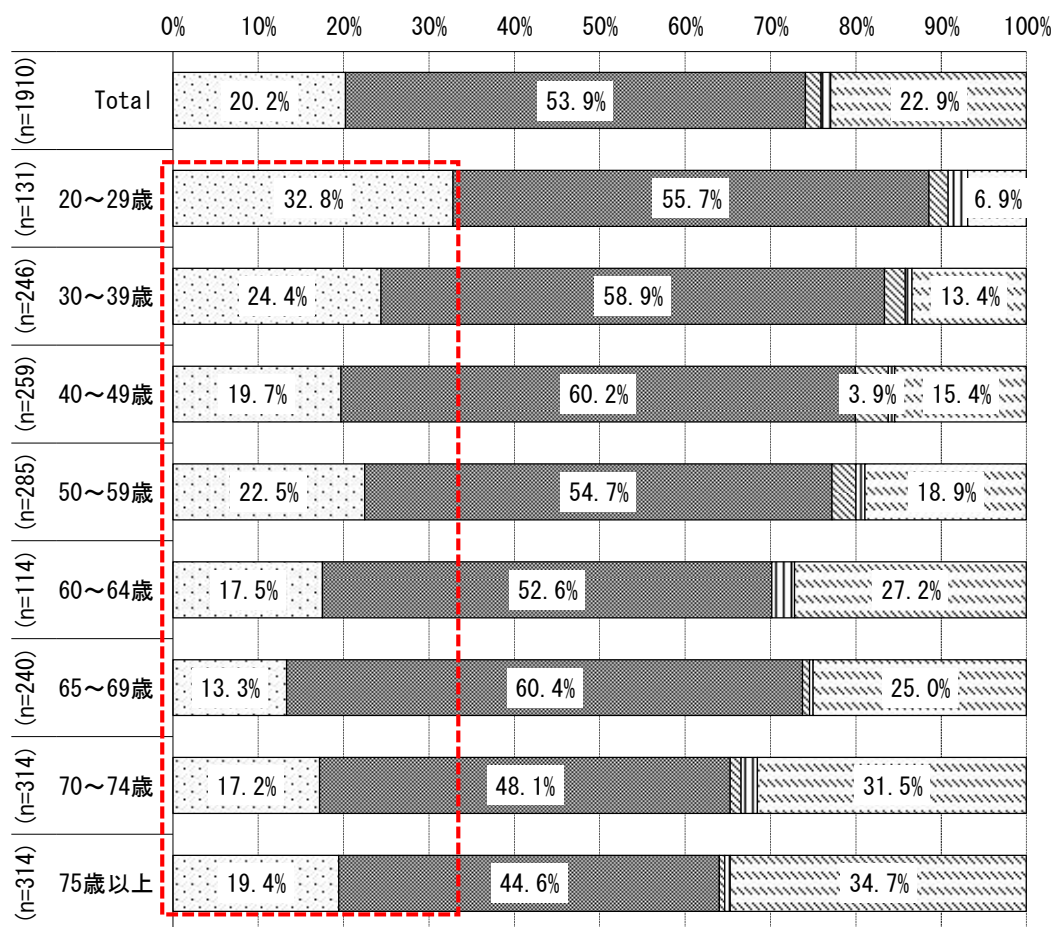


孤独感を世帯構成別にみると、「ひとり暮らし」の世帯では「たまにある」が 25.4%、「時々ある」が 19.0%、「しばしばある・常にある」が 6.4%と、約 5 割の人が「ある」と回答しており、他の世帯構成と比べ割合が高くなっている。

問9 問8で回答した「孤独であると感じる」状況は、新型コロナウイルス感染症の流行以前と比べ、どのように変化しましたか。(1つに○)



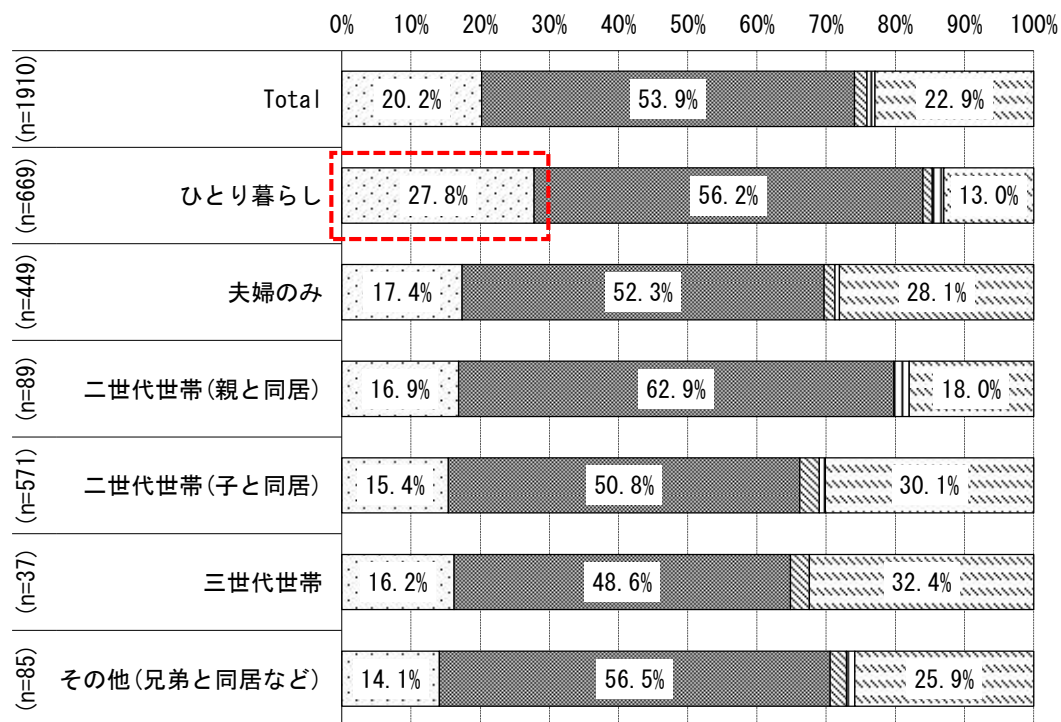
【問 9_年齢区分別】



- ☐ 以前よりも孤独を感じるようになった
 ☐ 以前と変わらない
☐ 以前よりも孤独を感じなくなった
 ☐ その他
☐ 無回答

新型コロナウイルス感染症の流行以前との孤独感の比較を年齢別にみると、年齢区分が高いほど「無回答」の割合が高くなっており、全体の傾向を比較できないが、どの年齢区分でも「以前よりも孤独を感じるようになった」の割合が1割以上あり、特に「20～29歳」では32.8%が「以前よりも孤独を感じるようになった」と回答している。

【問 9_世帯構成別】

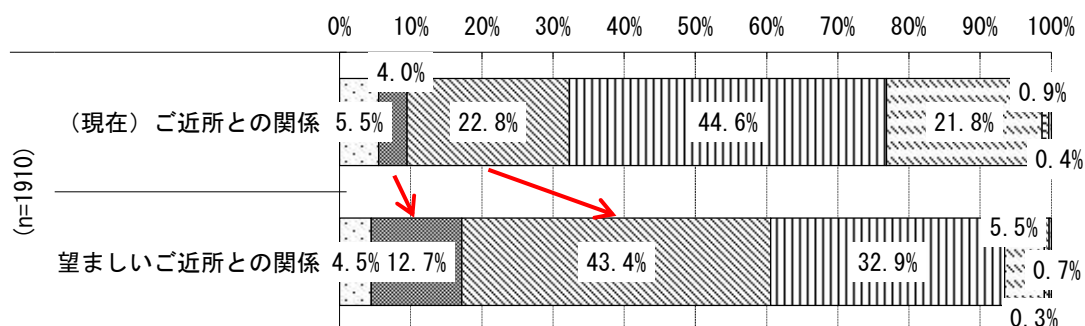


- ☐ 以前よりも孤独を感じるようになった
 ☐ 以前と変わらない
☐ 以前よりも孤独を感じなくなった
 ☐ その他
☐ 無回答

新型コロナウイルス感染症の流行以前との孤独感の比較を世帯構成別にみると、「ひとり暮らし」では、「以前よりも孤独を感じるようになった」の割合が27.8%となっている。

問 10 あなたの、現在のご近所との関わり方についてお答えください。(1つに○)

問 11 あなたにとって望ましいと思うご近所との関わり方についてお答えください。
(1つに○)



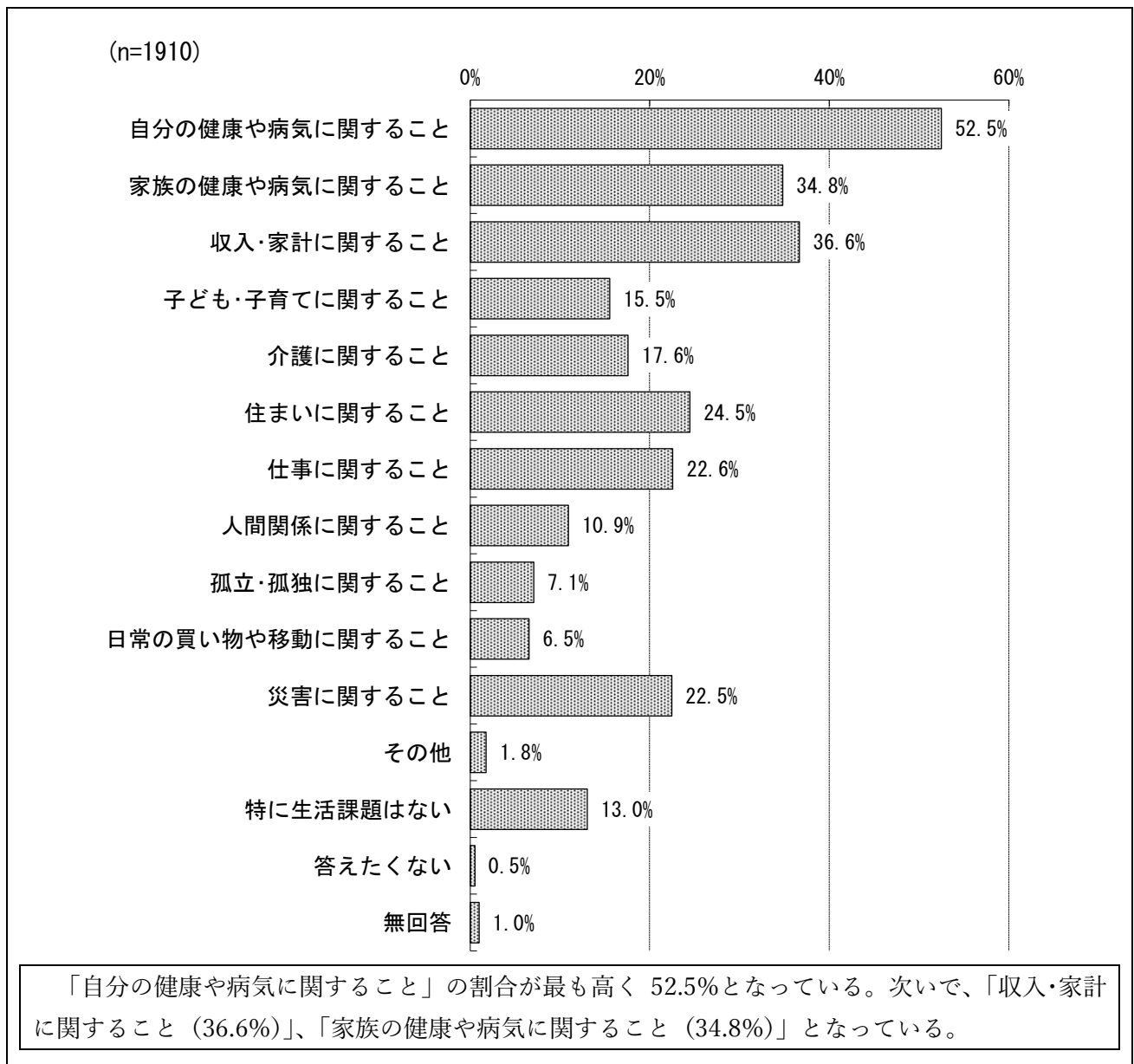
- ☐ 困りごとや悩みごとを相談する(される)ことができる程度
- ☒ 上記までではないが、簡単な頼みごとや、物の貸し借りなどを行うことができる程度
- ☒ 会えば立ち話や情報交換などができる程度
- ☒ 会えばあいさつをかわすことができる程度
- ☐ 付き合いはなくて良い
- ☒ その他
- ☒ 無回答

現在のご近所との関わり方では、「会えばあいさつをかわす程度」の割合が最も高く 44.6%となっている。次いで、「会えば立ち話や情報交換などをする程度 (22.8%)」、「付き合いはほとんどない (21.8%)」となっている。

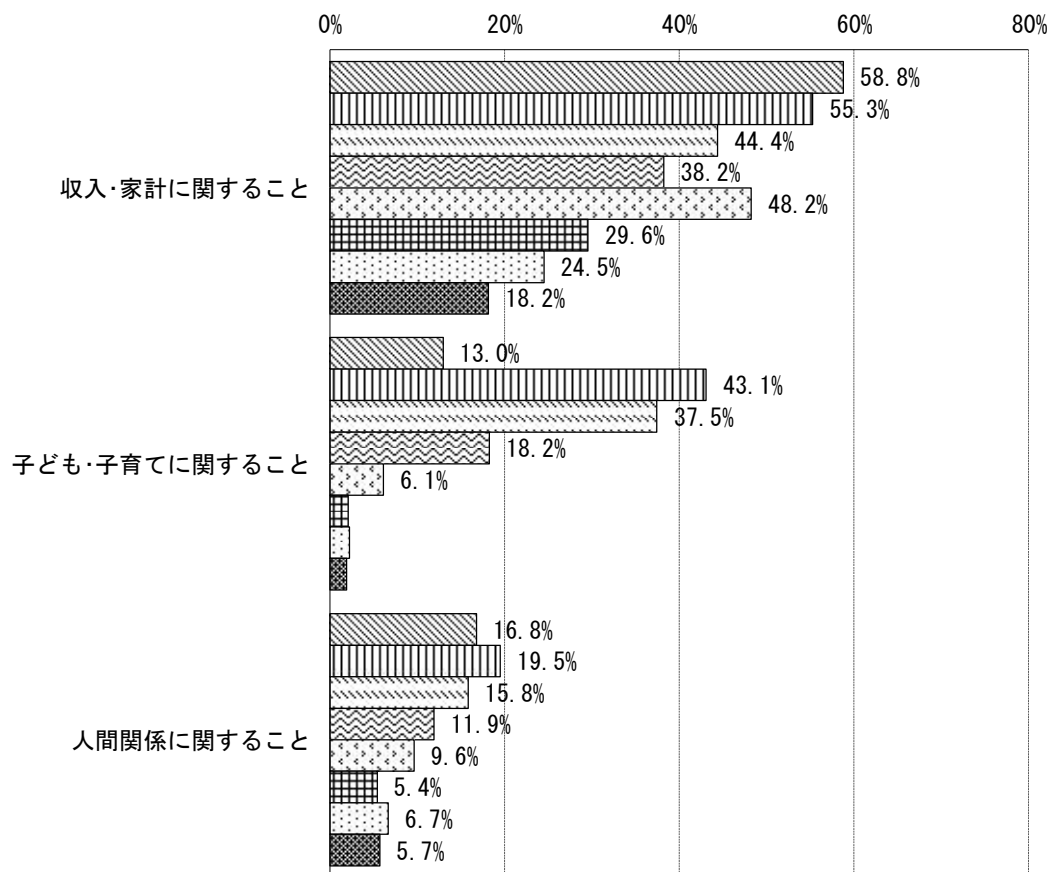
望ましいご近所との関係では、「会えば立ち話や情報交換などができる程度」の割合が最も高く 43.4%となっている。次いで、「会えばあいさつをかわすことができる程度 (32.9%)」、「上記までではないが、簡単な頼みごとや、物の貸し借りなどを行うことができる程度 (12.7%)」となっている。

3. 困ったときの相談について

問 12 あなたが、現在、日常生活を送る上で課題と感ずることがあればお答えください。
(あてはまるものすべてに○)



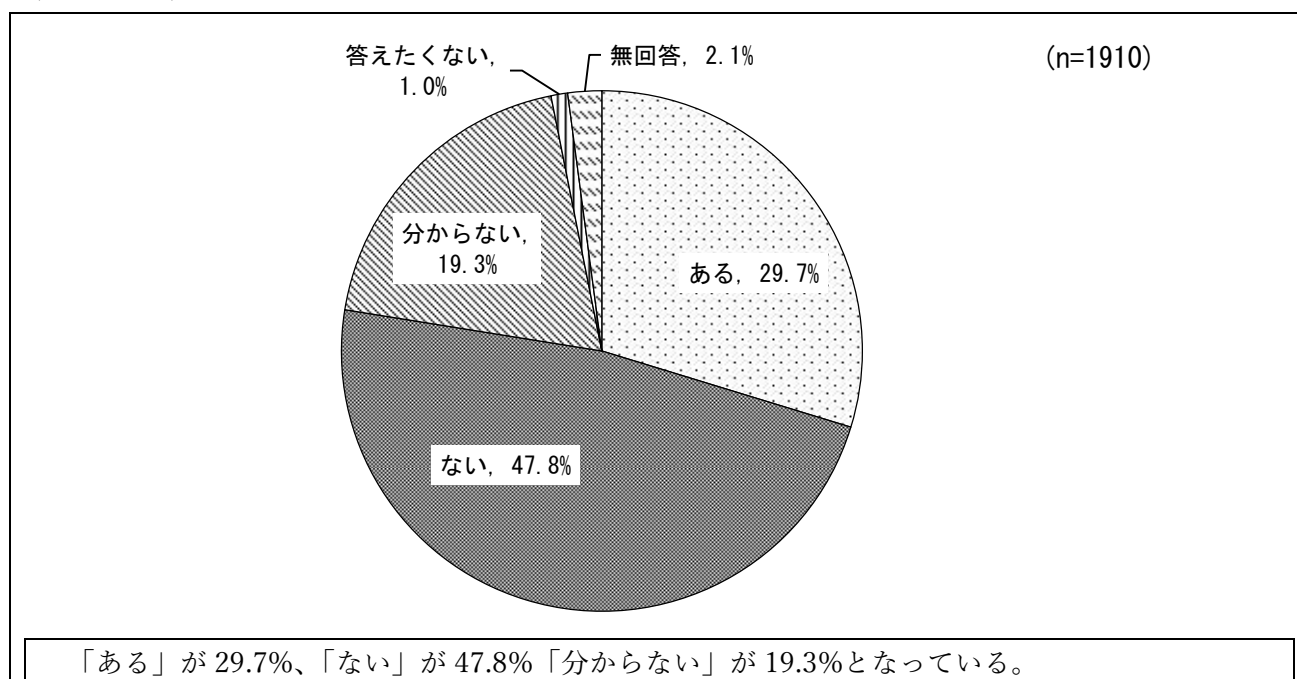
【問 12_年齢区分別】



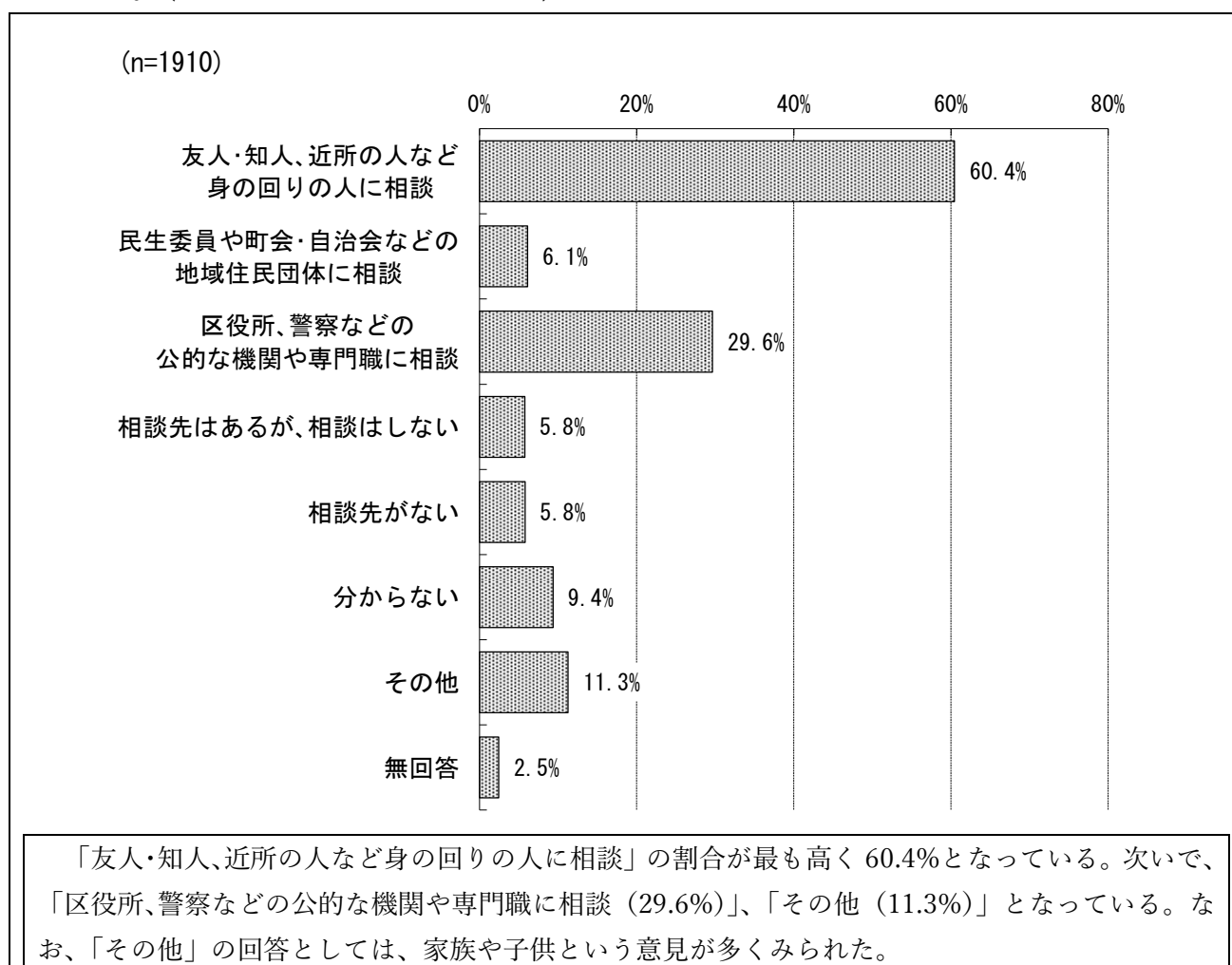
□ (n=131) 20～29歳 □ (n=246) 30～39歳 □ (n=259) 40～49歳 □ (n=285) 50～59歳
 □ (n=114) 60～64歳 □ (n=240) 65～69歳 □ (n=314) 70～74歳 □ (n=314) 75歳以上

日常生活での課題を年齢別にみると、「収入・家計に関すること」、「子ども・子育てに関すること」について、年齢区分が低い年齢層の割合が高い傾向がみられる。

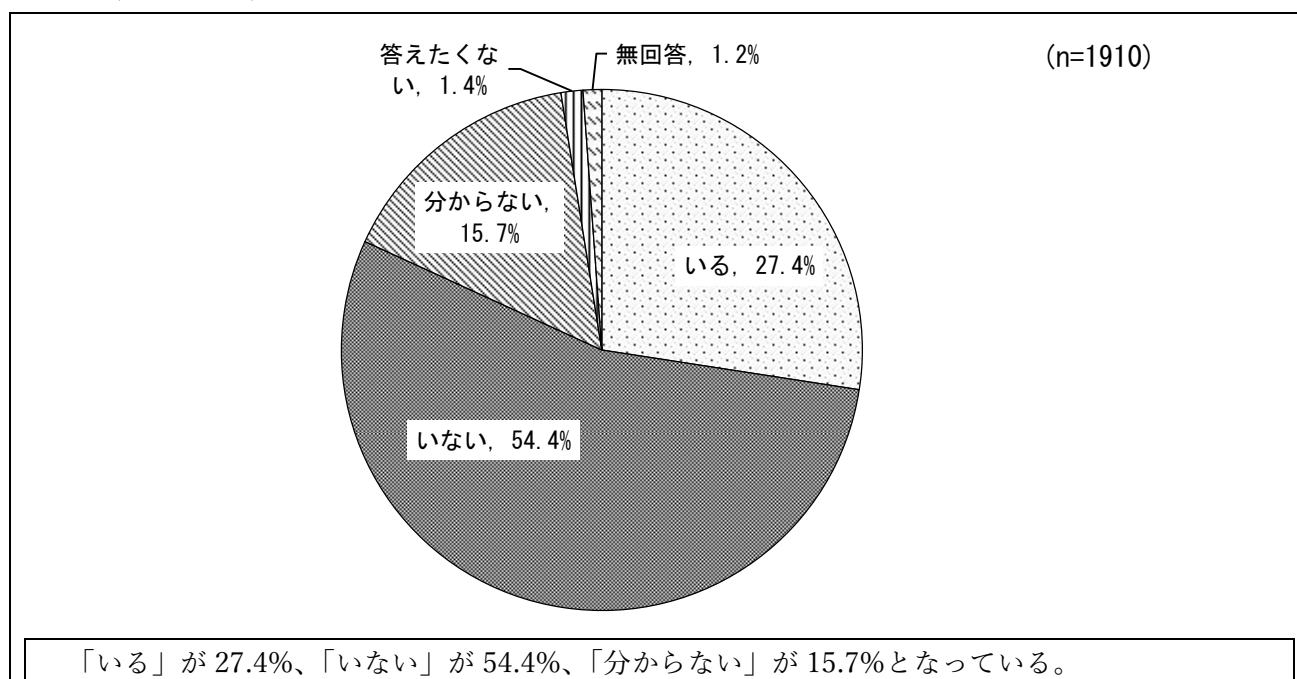
問 13 日常生活を送る上で、自分自身では解決することが難しい課題はありますか。
(1つに○)



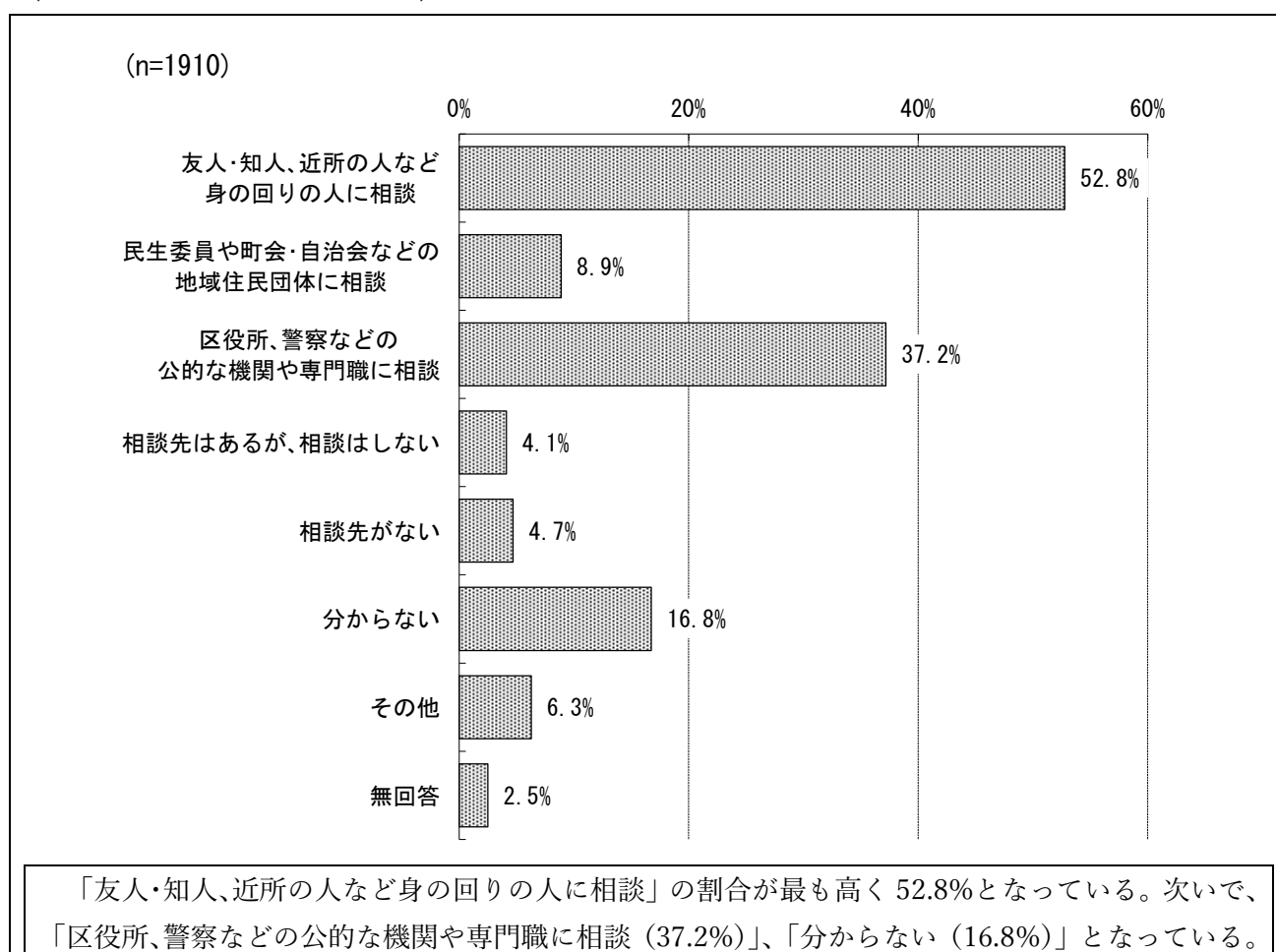
問 14 自分自身では解決することが難しい課題が発生した場合、あなたは誰に/どこに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)



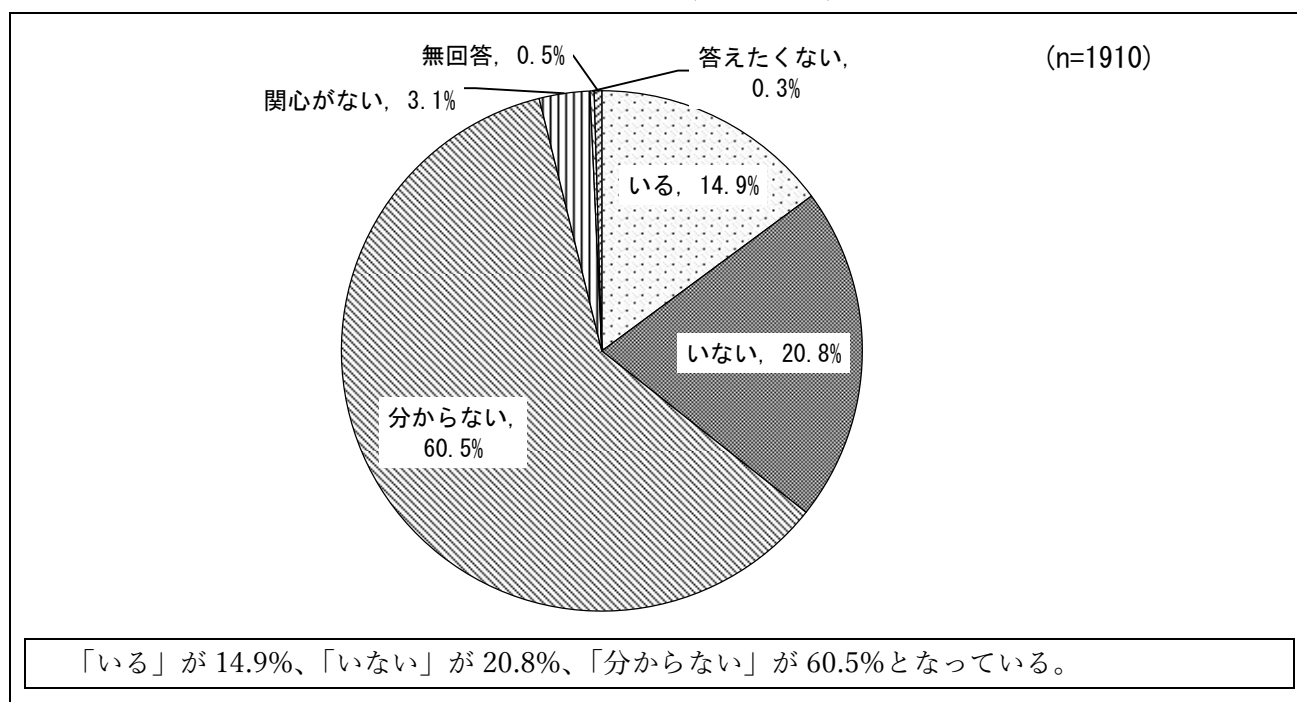
問 15 あなたの家族や親族のうち、現在、日常生活を送る上で課題を抱えている人はいますか。(1つに○)



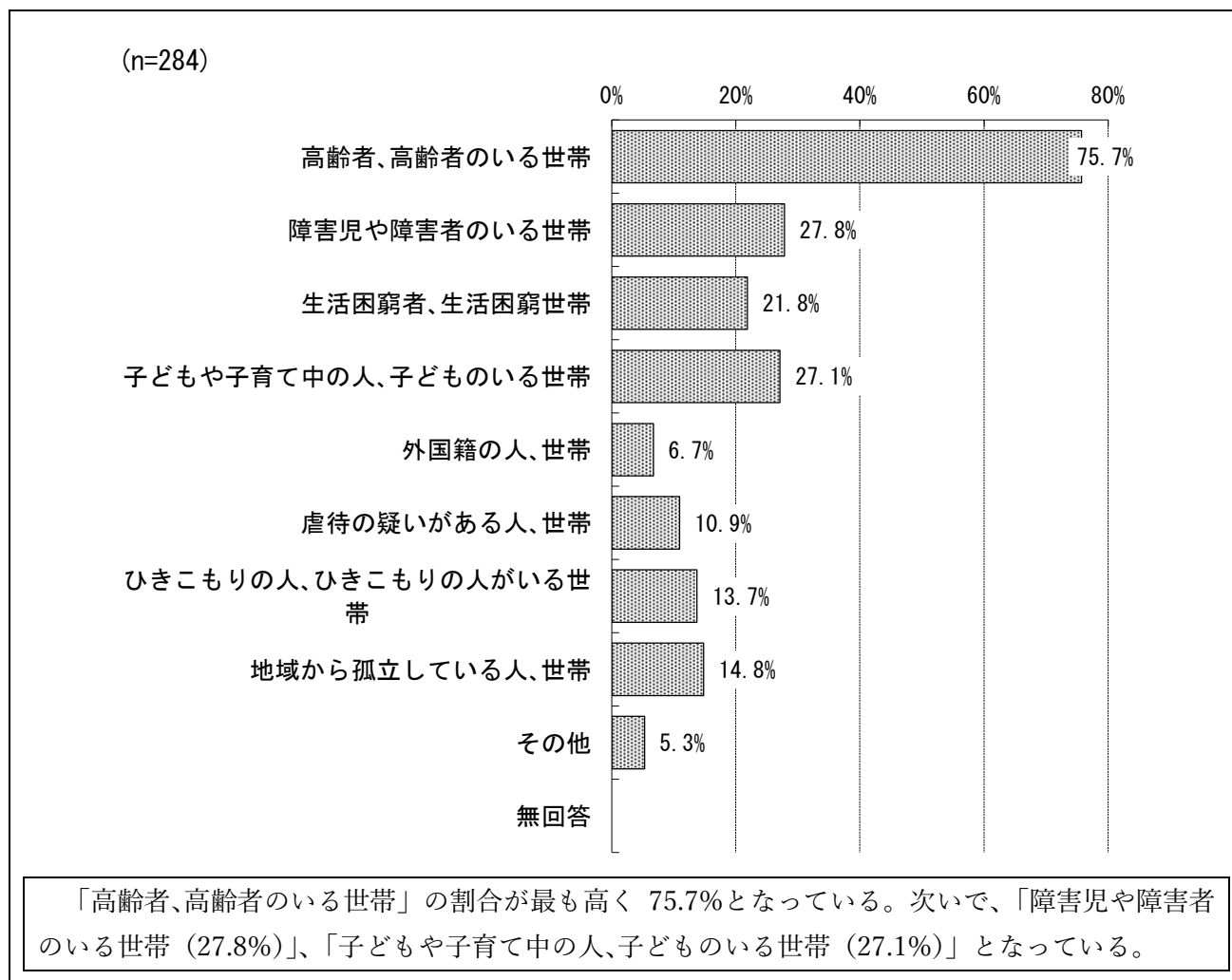
問 16 家族や親族に解決することが難しい課題が発生した場合、家族や親族の抱えている課題について、あなたやあなたの家族は誰に/どこに相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)



問 17 あなたから見て、地域の中に、何か困りごとがありそうな人や世帯、手助けが必要ではないかと思うような人や世帯はいますか。(1つに○)

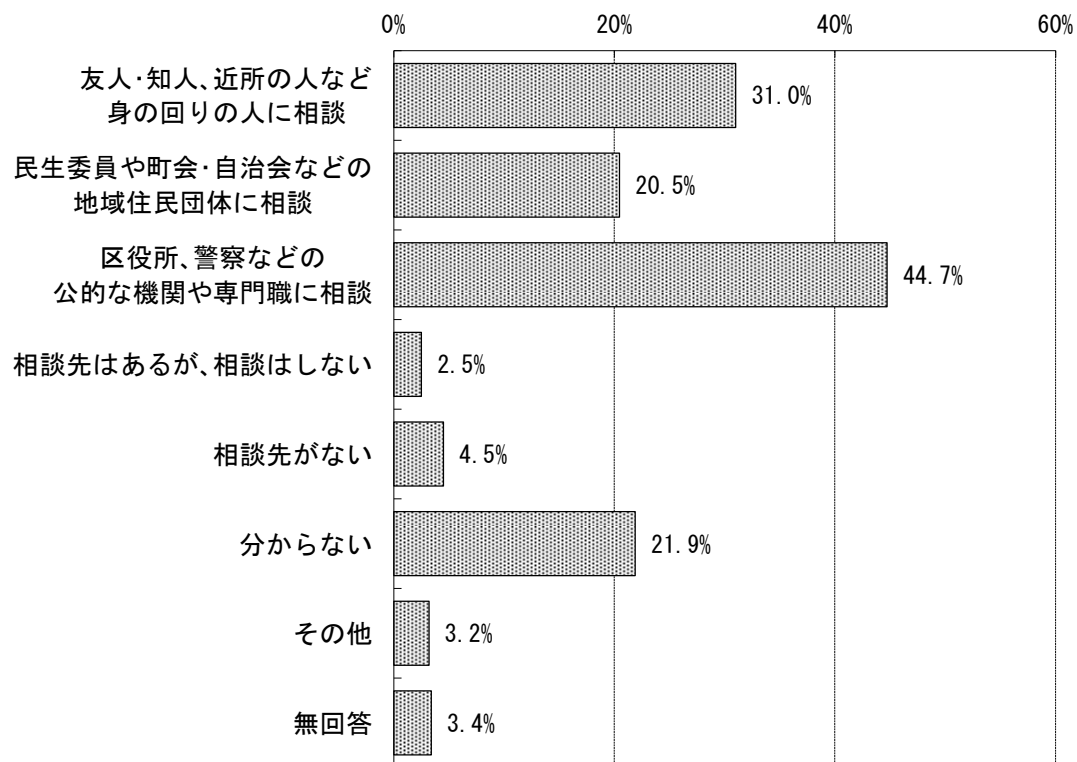


問 18 問 17 で、何か困りごとがありそうな人や世帯、手助けが必要ではないかと思うような人や世帯が「1. いる」と回答した方におたずねします。
それはどのような人や世帯ですか。(あてはまるものすべてに○)



問 19 何か困りごとがありそうな人や世帯、手助けが必要ではないかと思うような人や世帯に、あなたが気付いた場合、そのような人や世帯について、あなたは誰に/どこに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

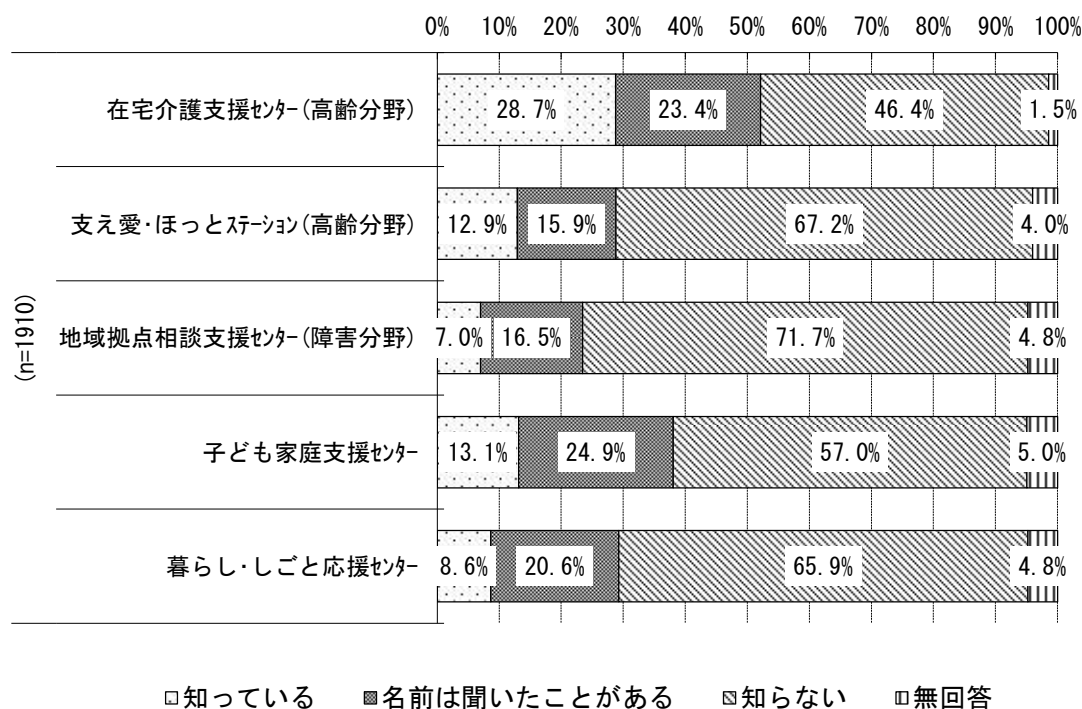
(n=1910)



「区役所、警察などの公的な機関や専門職に相談」の割合が最も高く 44.7%となっている。次いで、「友人・知人、近所の人など身の回りの人に相談 (31.0%)」、「分からない (21.9%)」となっている。「その他」の意見としては、マンションの管理組合やオーナー、といった意見も多くみられた。

問 20 あなたは、品川区にある以下の相談機関について知っていますか。

(項目ごとに1つに○)

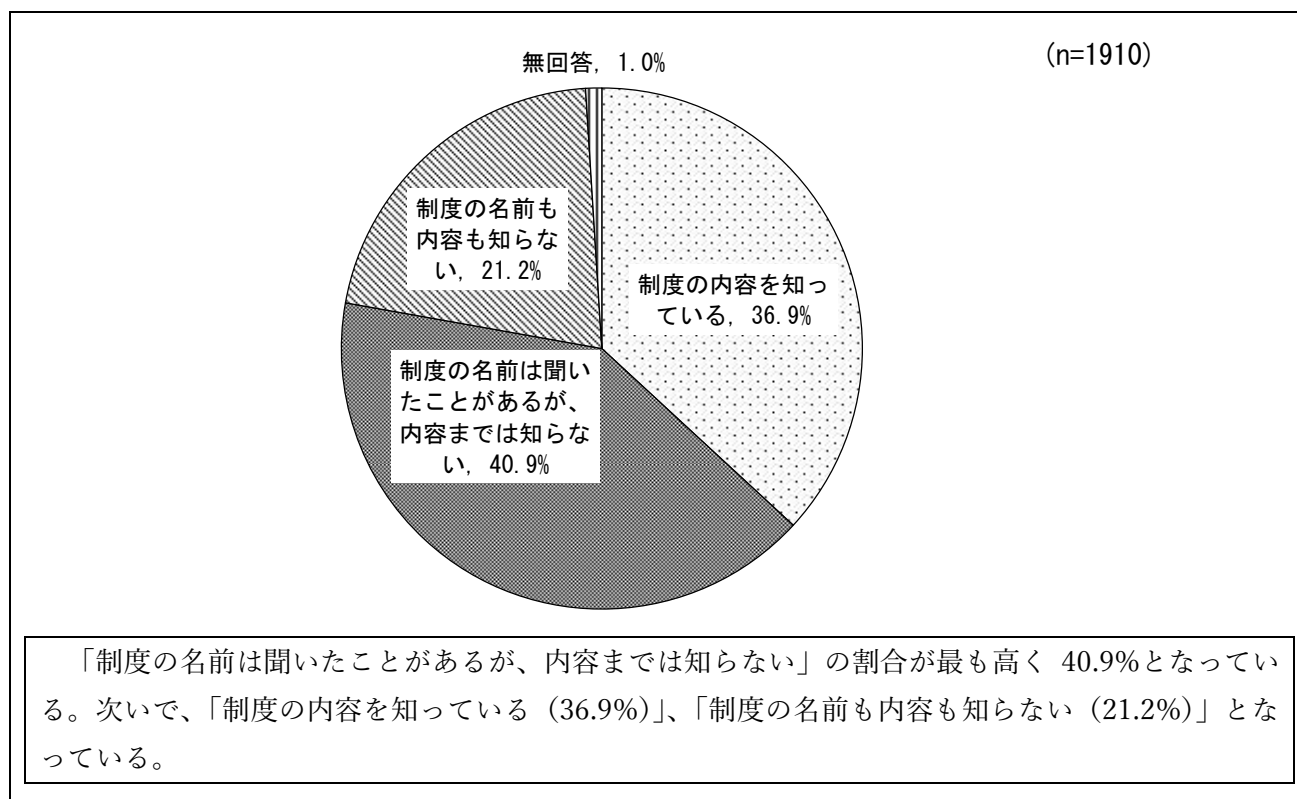


各分野の相談機関については、いずれも「知らない」の割合が最も高くなっているが、在宅介護支援センター（高齢分野）については、「知っている」、「名前は聞いたことがある」の合計が約5割となっている。

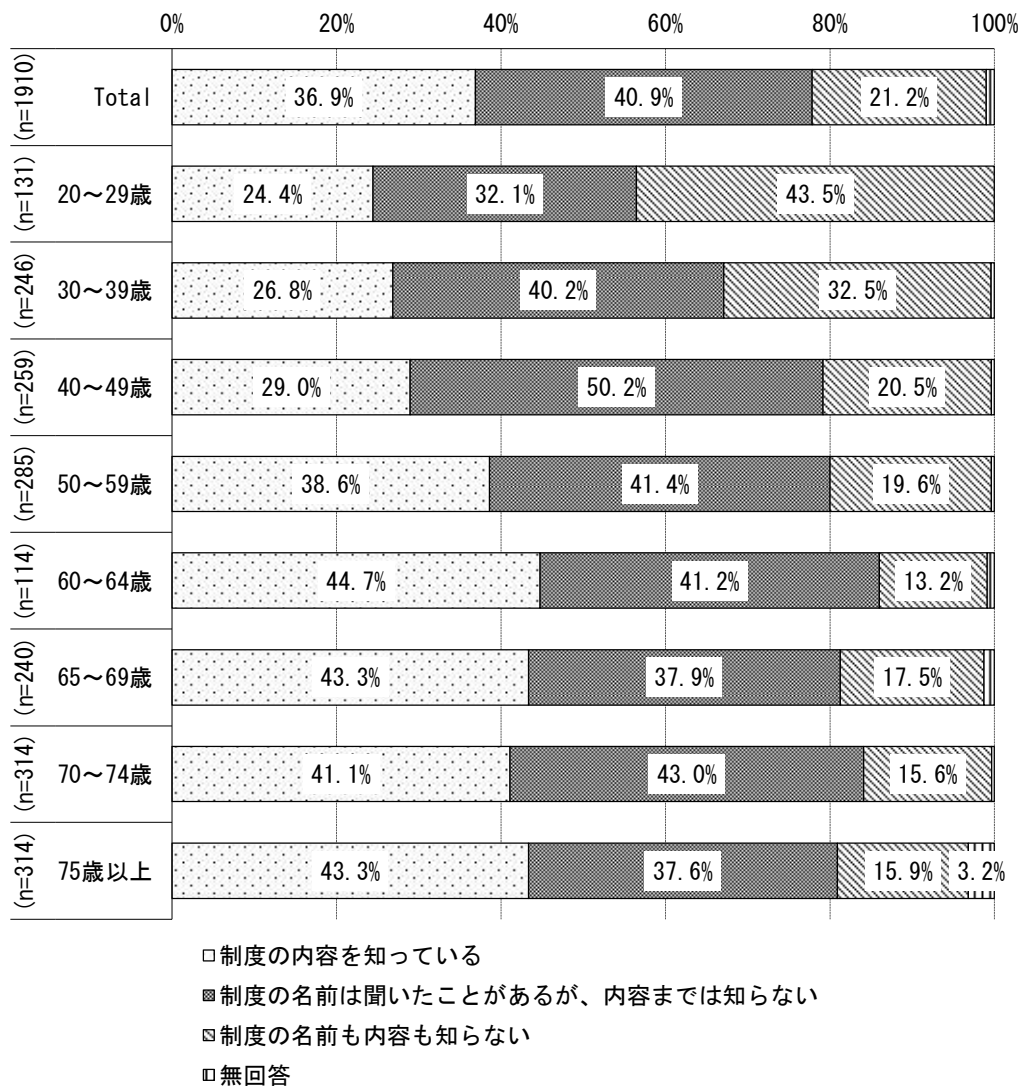
問 21 問 20 の相談機関以外に、あなたが相談したことのある、もしくは相談したことはないが、知っている相談先はありますか。（自由記載）※公的なもの（保健センター、児童センターなど）だけでなく、NPO（特定非営利活動法人）や民間の相談先でも結構です。

- ・ 東京都女性相談センター
- ・ 品川区消費者センター
- ・ 社会福祉協議会
- ・ 病院、病院のソーシャルワーカー
- ・ 税務署
- ・ 消費者苦情センター
- ・ 民生委員
- ・ 区民相談
- ・ 区役所の法律相談
- ・ 品川区高齢者生活相談室
- ・ 保健センター
- ・ 児童センター
- ・ 児童相談所
- ・ 法テラス
- ・ 司法書士
- ・ NPO 団体
- ・ こども食堂
- ・ 都民共済でんわ健康相談室
- ・ HELP、Bond、わかくさ、ウィメンズプラザ、東京弁護士会、ウエルク、フレスク（入管） など

問 22 あなたは、成年後見制度について知っていますか。(1 つに○)



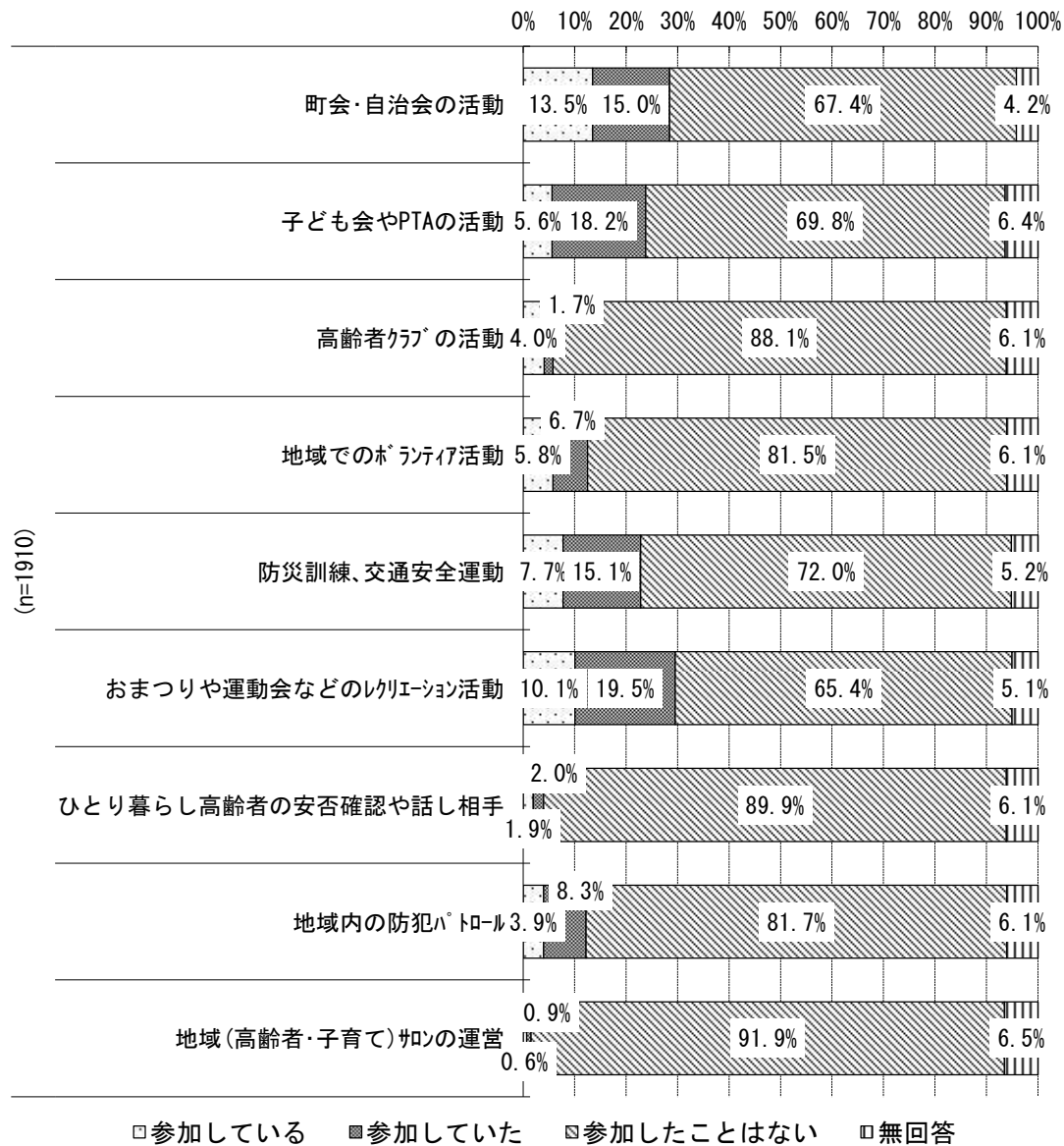
【問 22_年齢区分別】



成年後見制度の認知状況を年齢別にみると、60歳以上では4割以上の方が「制度の内容を知っている」と回答しているが、20歳～49歳の年齢区分では、「制度の内容を知っている」の割合は3割以下となっている。

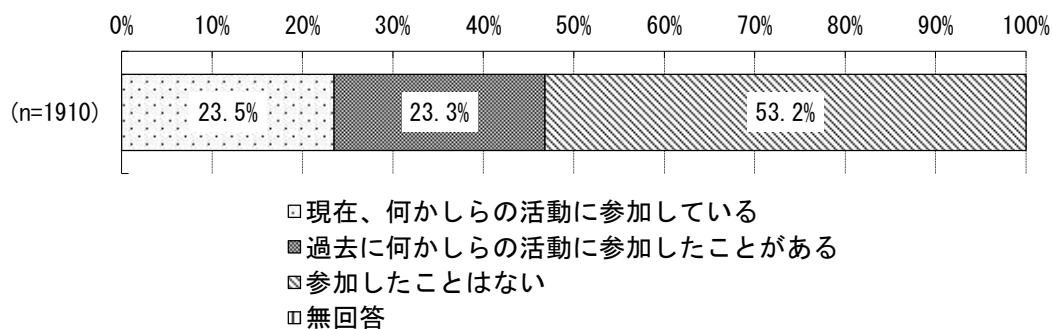
4. 地域活動やボランティア活動について

問 23 現在までの地域活動やボランティア活動への参加状況についてお答えください。
(項目ごとに1つに○)



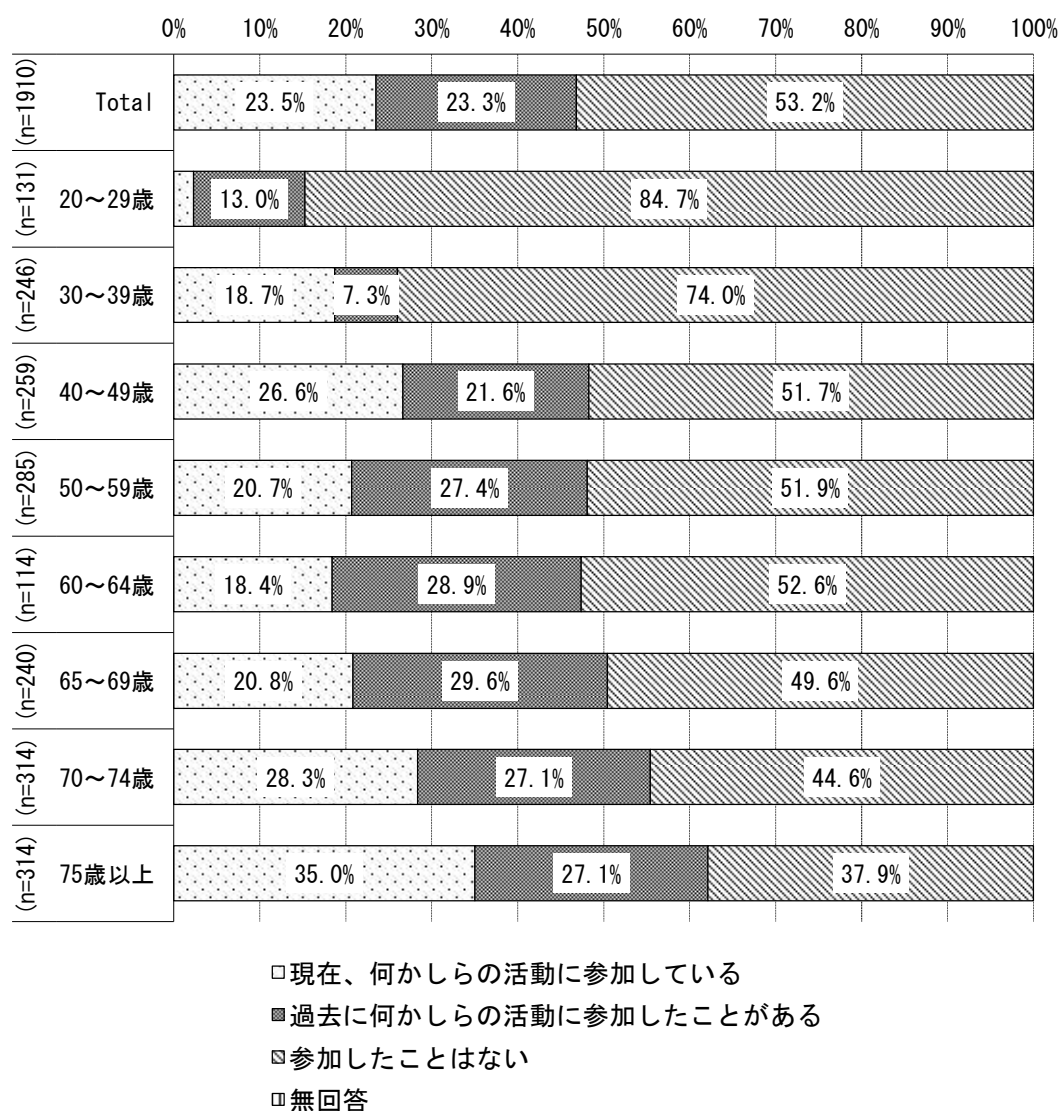
おまつりや運動会などのレクリエーション活動では、「参加している」が10.1%、「参加していた」が19.5%、町会・自治会の活動では、「参加している」が13.5%、「参加していた」が15.0%、子供会やPTAの活動では、「参加している」が5.6%、「参加していた」が18.2%、防災訓練、交通安全運動では、「参加している」が7.7%、「参加していた」が15.1%となっている。

【問 23_現在までに何かしらの活動に参加している・参加していた】



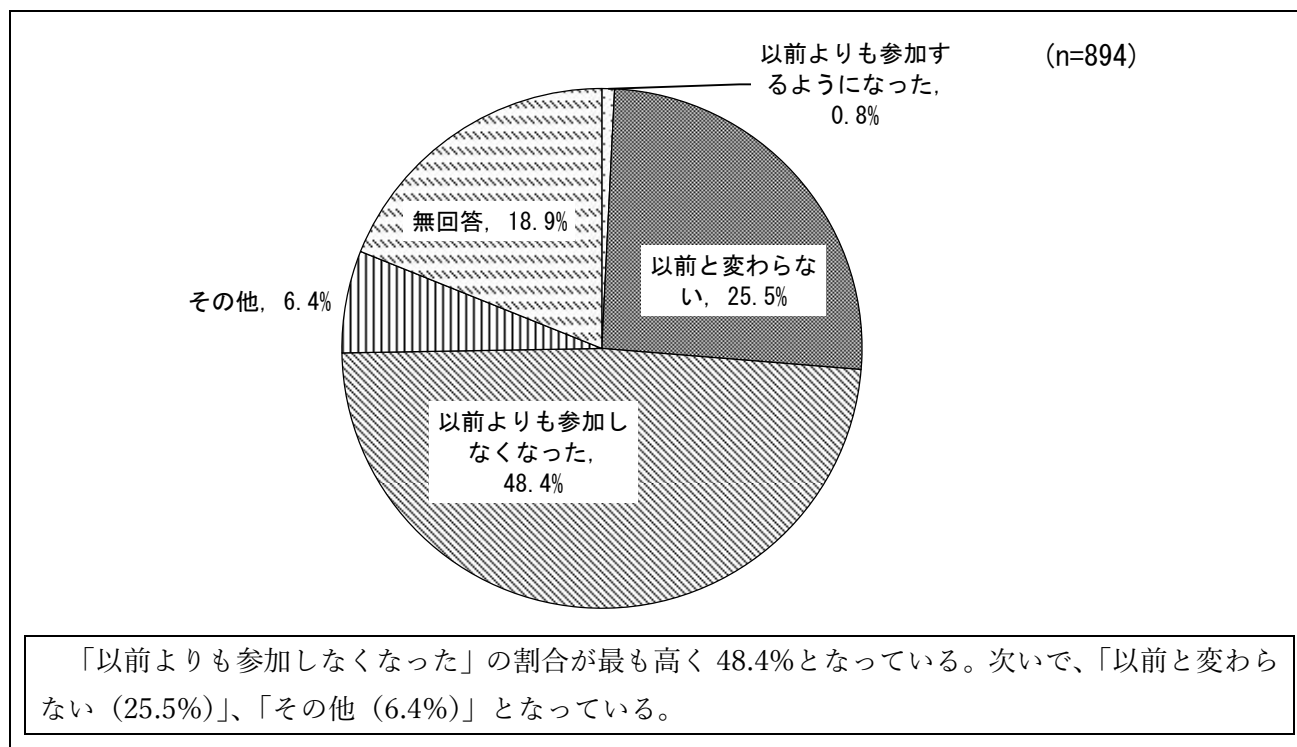
現在までの地域活動やボランティア活動への参加状況について「現在までに何かしらの活動に参加している・参加していたか」で見ると、「現在、何かしらの活動に参加している」が23.5%、「過去に何かしらの活動に参加したことがある」が23.3%となっている。

【問 23_現在までに何かしらの活動に参加している・参加していた_年齢区分別】

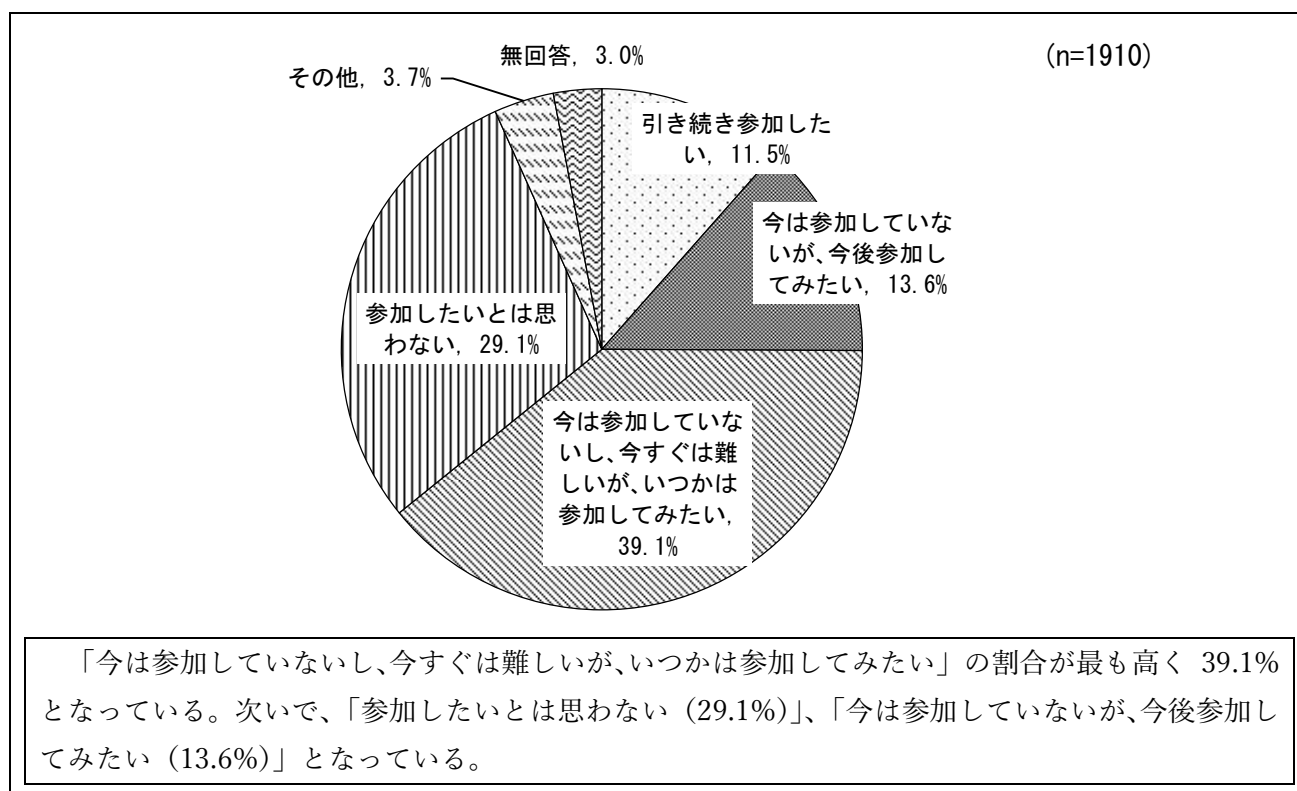


40歳以上の年齢区分では、過去を含め何かしらの活動に参加している・参加したことがあると回答した割合が約5割となっている。

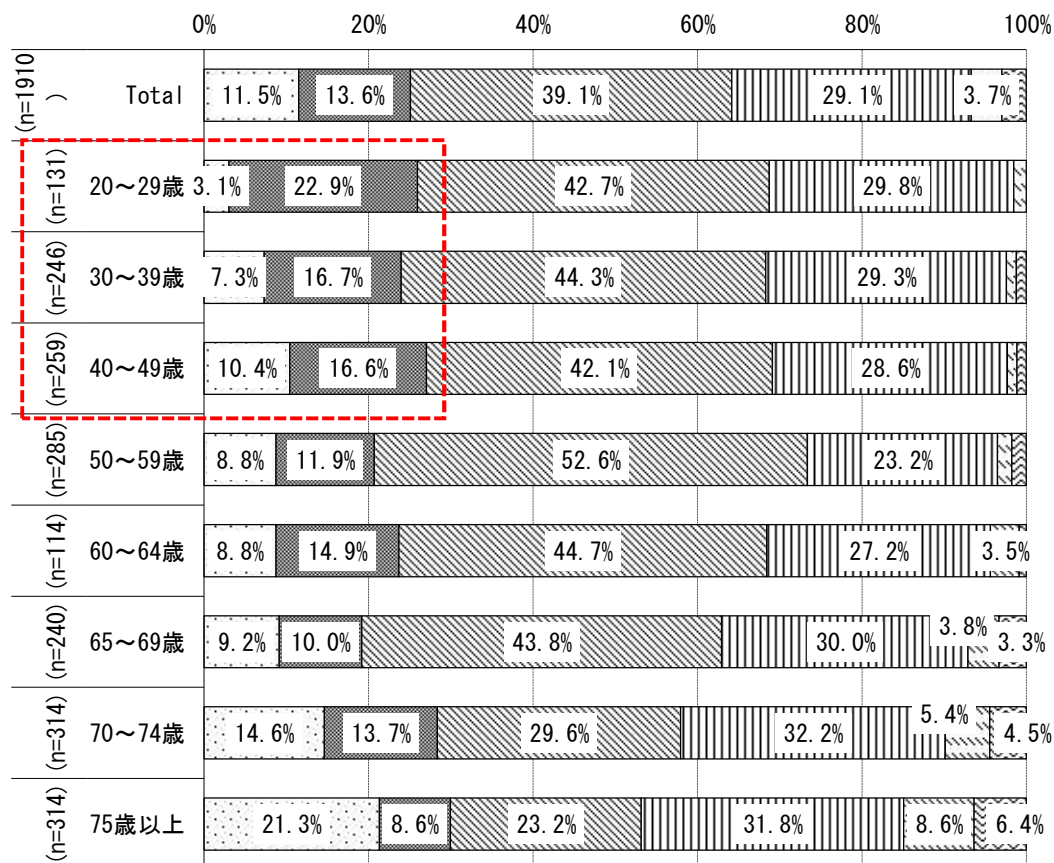
問 24 問 23 で、地域活動やボランティア活動に「1. 参加している」「2. 参加していた」と回答した方におたずねします。地域活動やボランティア活動への参加状況は、新型コロナウイルス感染症の流行以前と比べ、どのように変化しましたか。(1つに○)



問 25 地域活動やボランティア活動への今後の参加意欲についてお答えください。(1つに○)



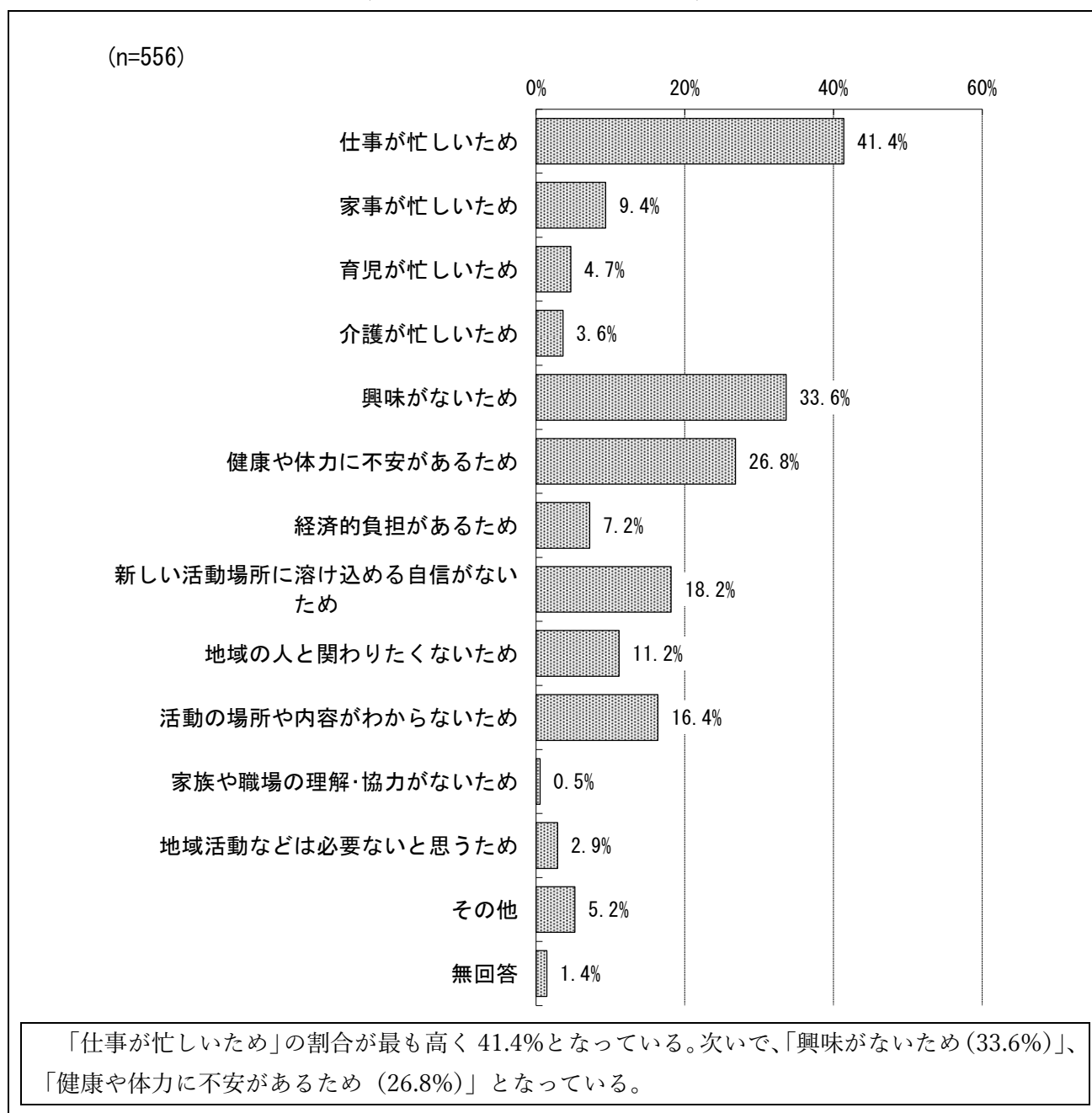
【問 25_年齢区分別】



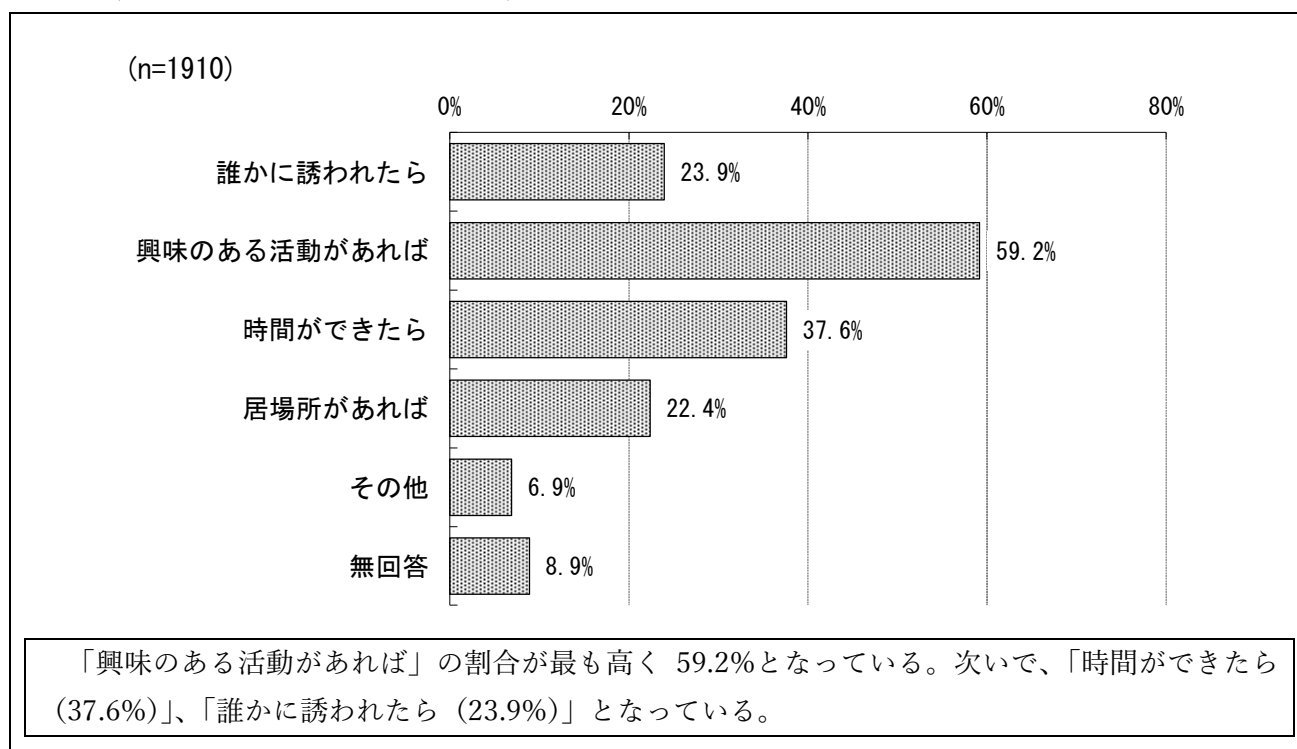
- 引き続き参加したい
- 今は参加していないが、今後参加してみたい
- ▨今は参加していないし、今すぐは難しいが、いつかは参加してみたい
- 参加したいとは思わない
- その他
- 無回答

地域活動やボランティア活動への今後の参加意欲を年齢別にみると、いずれの年齢区分においても「参加したいとは思わない」の割合が約3割を占めているが、「20~29歳」では、「今は参加していないが、今後参加してみたい」が22.9%と他の年齢区分と比べ割合が高く、49歳までの比較的若い年齢層においても地域活動やボランティア活動に参加している、今後参加してみたいとする割合が一定割合存在している。

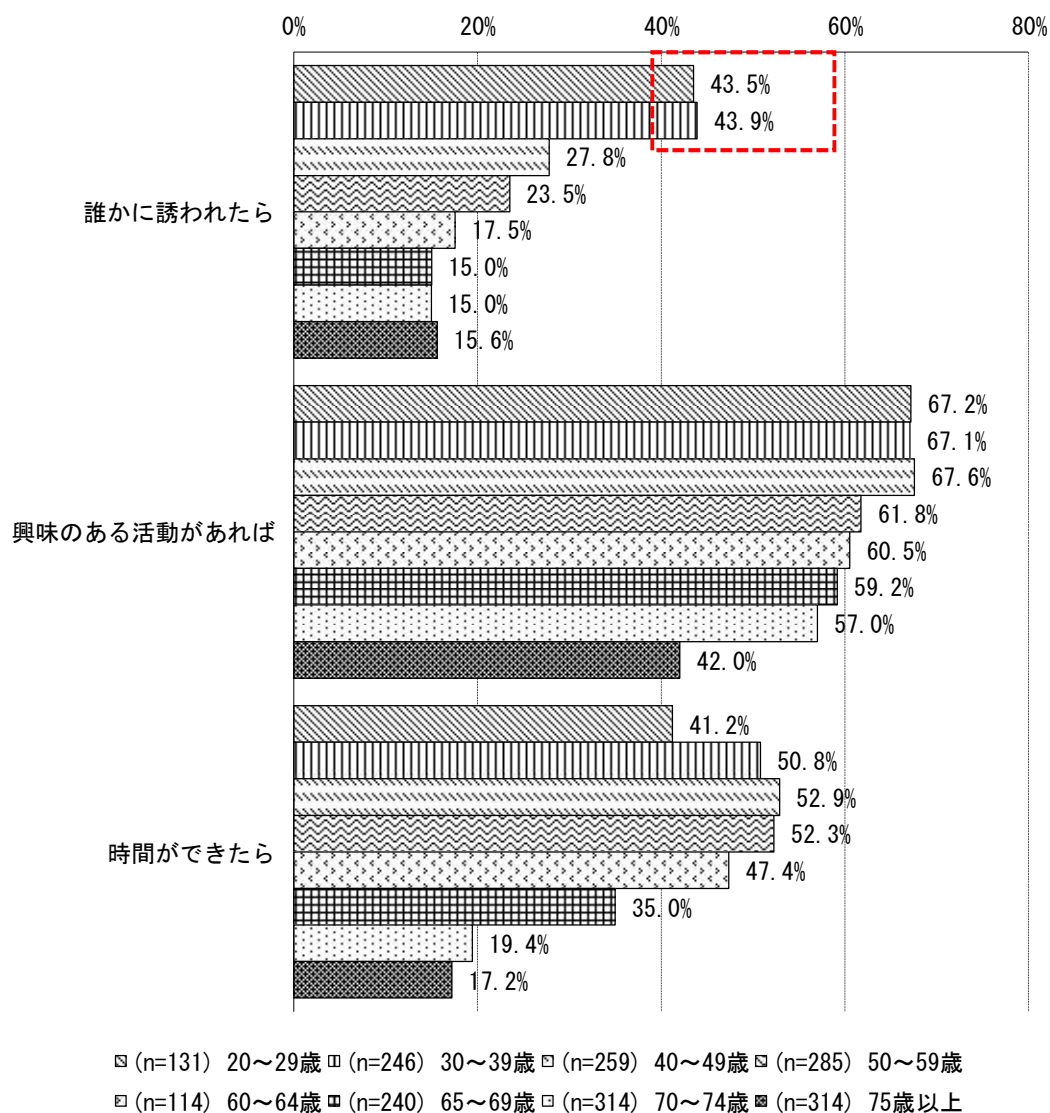
問 26 問 25 で「4. 参加したいとは思わない」と答えた方におたずねします。参加したいと思わない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



問 27 あなたはどのようなきっかけがあれば地域活動やボランティアに参加したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



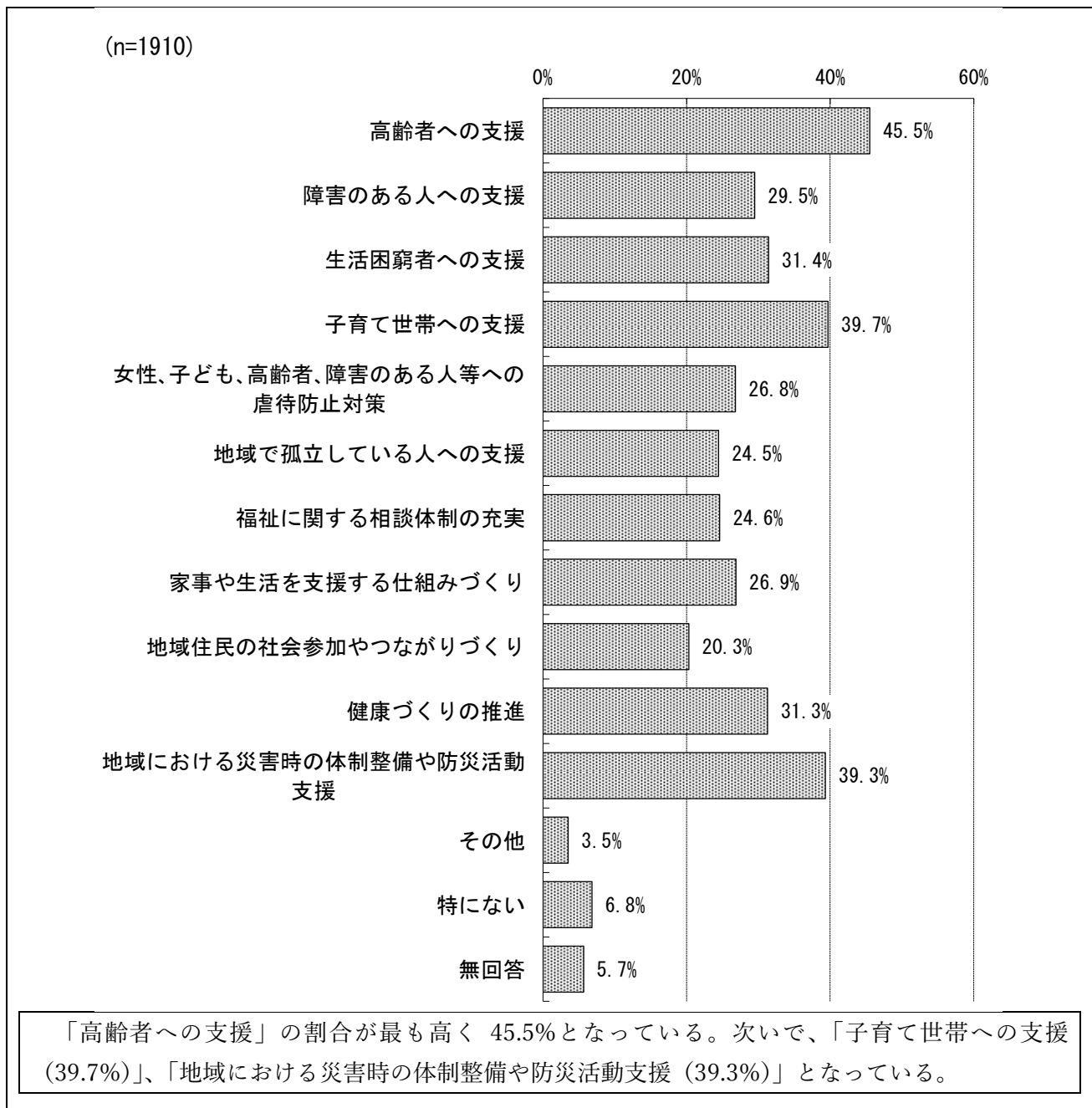
【問 27_年齢区分別】



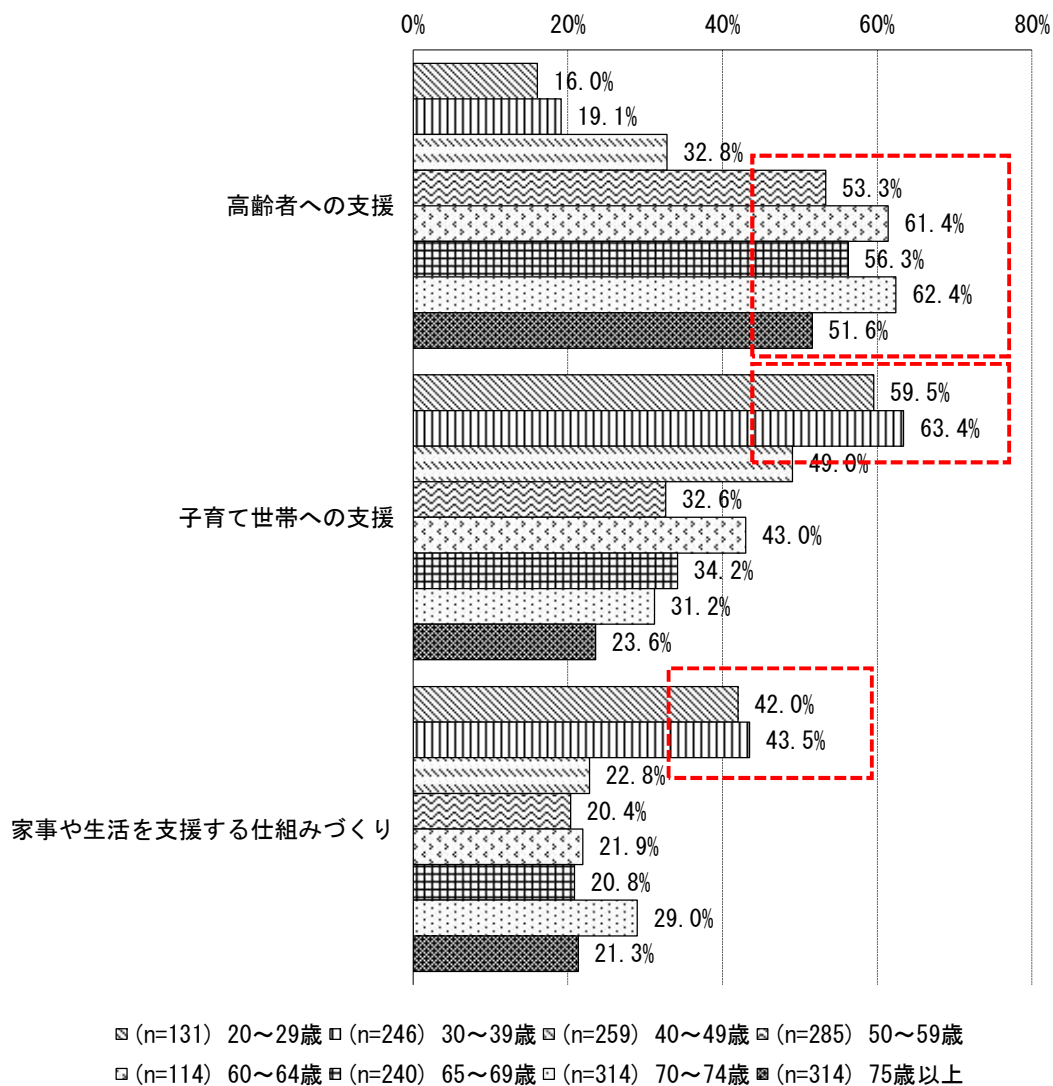
地域活動やボランティア活動への参加のきっかけを年齢区分別にみると、「誰かに誘われたら」では、「20～29歳」、「30～39歳」で4割以上となっており年齢区分による傾向の差がみられる。

5. 品川区の地域福祉の施策について

問 28 地域で充実してほしい施策についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)
※施策について、具体的な意見があれば、自由記載欄に記載してください。

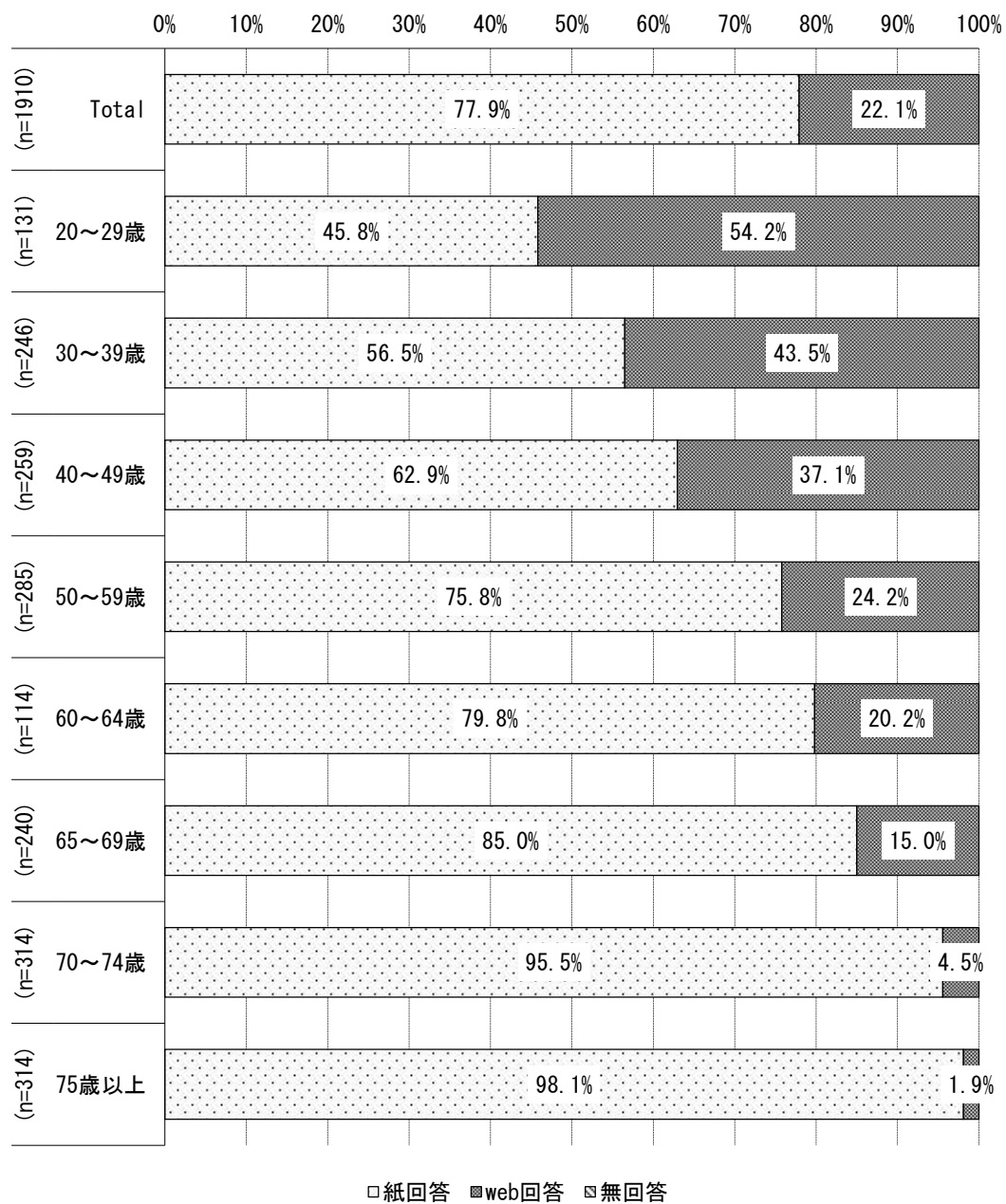


【問 28_年齢区分別】



地域で充実してほしい施策について年齢区分別にみると、「高齢者への施策」では、50歳以上の年齢区分でいずれも5割以上の回答となっており、65歳以上となる以前から関心が高いことが伺える。一方で、「子育て世帯への支援」、「家事や生活を支援する仕組みづくり」では、「20～29歳」、「30～39歳」の年齢区分で他の区分と比べ高い割合となっている。

6. (参考) 回答方法について



「紙回答」の割合が最も高く 77.9%となっている。次いで、「web 回答 (22.1%)」となっている。年齢区分別にみると、年齢区分が低いほど、Web 回答の割合が高い傾向がみられる。